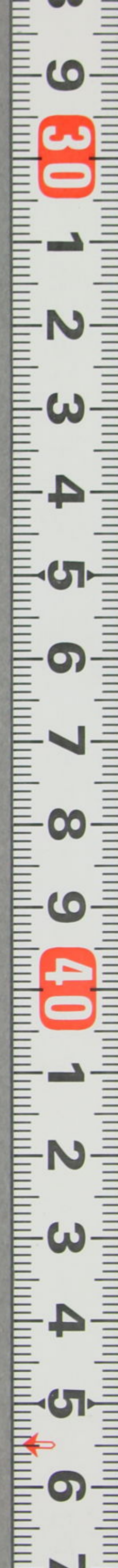
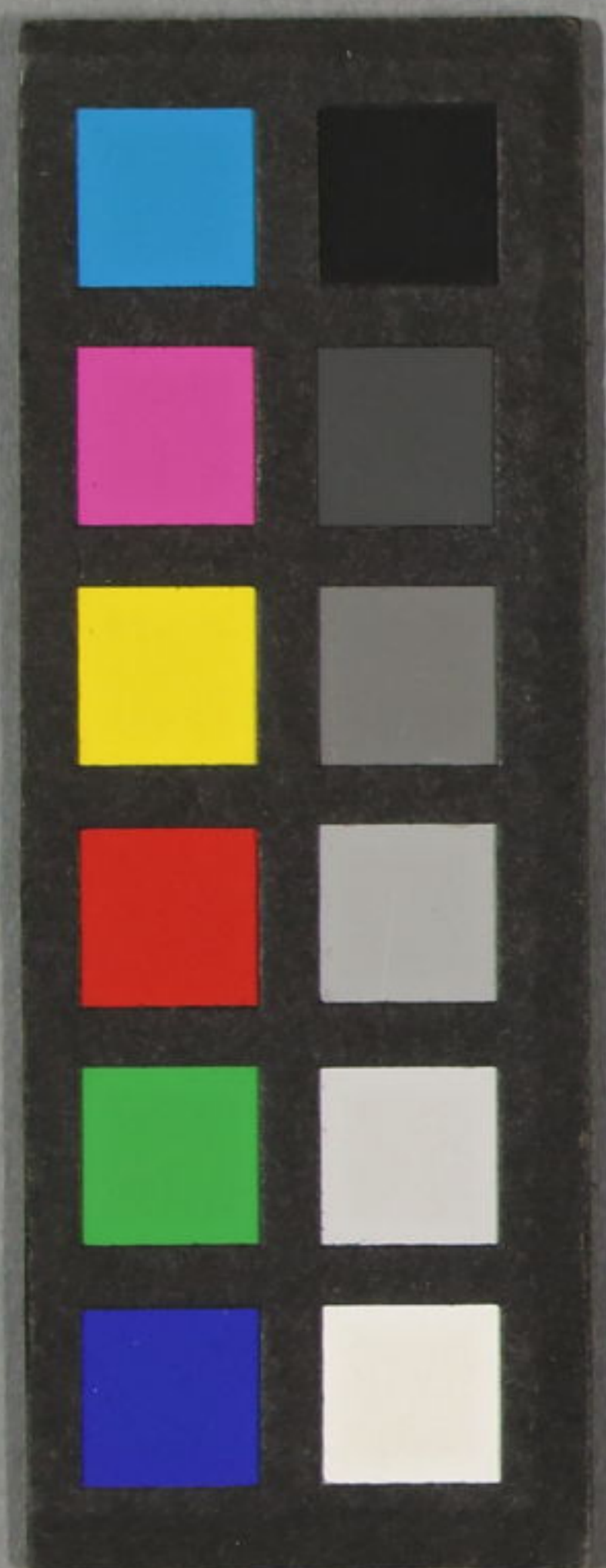


元禄
板

志世全集

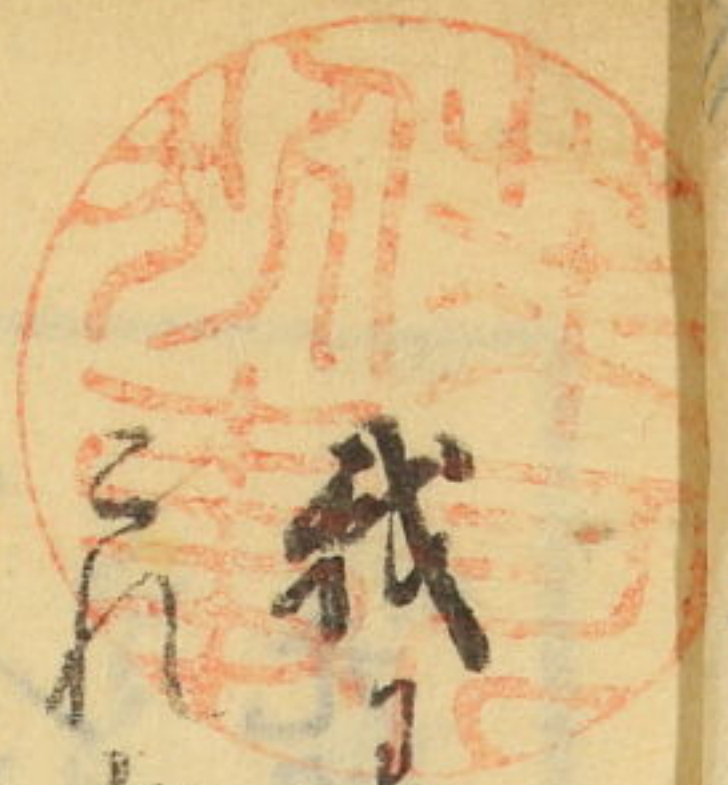
5
4341
1



元禄
板
志のそら
秋

4
4319
1

へ 5
4341
1-2



我^レのかりし時連弁小用度記拍^レえ
 れどもありあ川^レ老^レく傳^レ詞^レ兼^レれ^レ紙^レ
 梅^レの^レ統^レ中^レ近^レ枝^レ素^レの^レ勢^レ易^レな^レ傳^レ年^レ
 奇^レ林^レ乃^レ良^レ枝^レ風^レ雅^レ乃^レ室^レ器^レ下^レり^レ連^レ傳^レめ^レ
 又^レ志^レの^レま^レれ^レた^レ或^レハ^レ傳^レ寫^レ乃^レ終^レ又^レハ^レ彫^レ刻^レの^レ
 根^レ切^レり^レと^レる^レや^レ噴^レ傳^レ人^レ傳^レれ^レハ^レ毛^レと^レ先^レ師^レ
 小^レ尋^レく^レ何^レま^レひ^レく^レ用^レ家^レ、^レ及^レ而^レ、^レ小^レ長^レ紙^レ
 乞^レ兼^レく^レ而^レ符^レ、^レ傳^レ紙^レ兼^レか^レの^レと^レ紙^レより



Handwritten mark or signature on the right edge of the page.

Handwritten mark or signature at the bottom right of the page.

後乃人の名んあふえき樂傳りし書こ
乃得て何しこ小書入くし何し何林乃系
良枝し号傳教乞好んは弁乃のりし書
あ乃慈孝しは松乃葉のちりし書十侯乃
まことれりし書し世にめりし書ゆれ
ふともしはしぬあ終りし書んし

元祿五申 歲五月吉祥日

中堀氏 僖菴

和奇連俳小吟杯より書と和後羽林乃同小書
わく先親より用授乃式と割志く古本昨家
乃所秘より今幸小西菴西順乃書連氏割
授小合點し給ふ正式乃秘と得くまに乞
し何し一く乃上小中點して担古割の旨
と歌しとあ息以用と書息成持こと但
新割はは限小何し書り多るべし於傳傳乃真
と可更も也

西籍之為得島

西順之為得島

西籍西水為得島

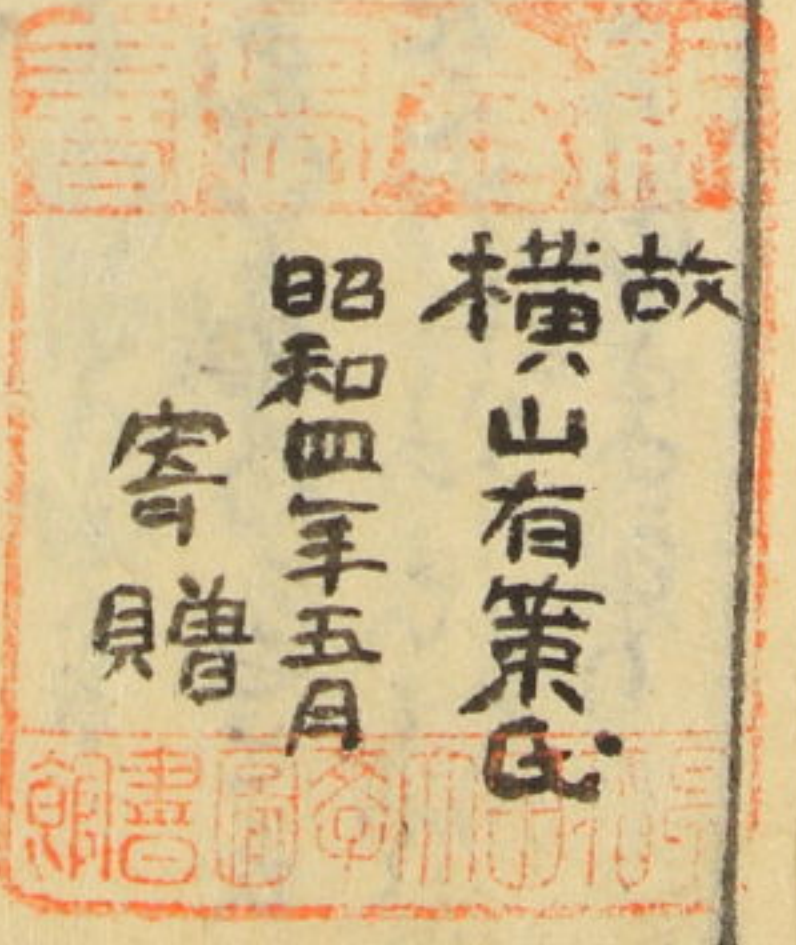
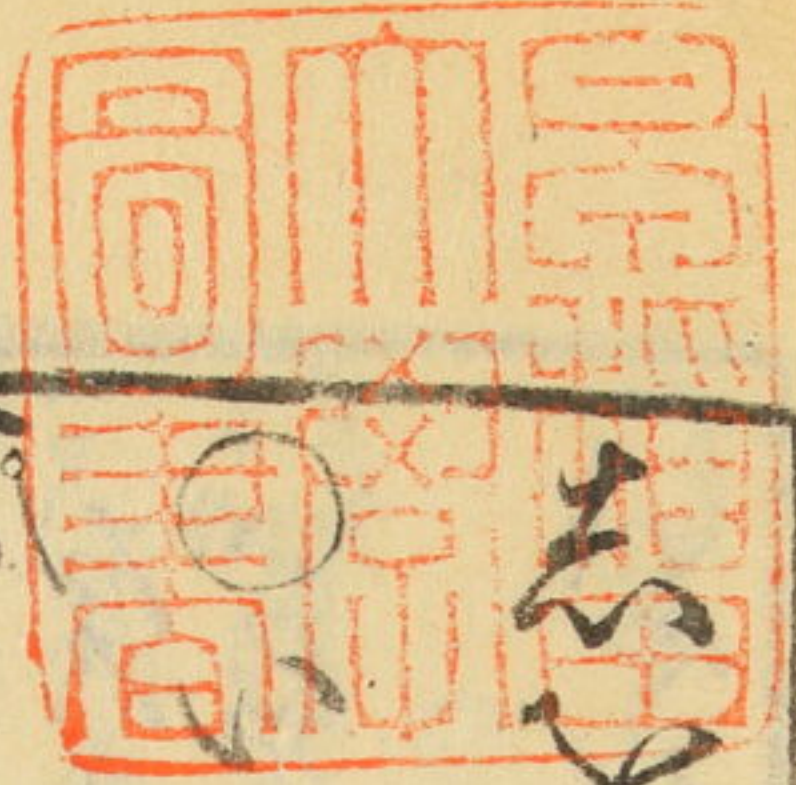
凡連舟近故來と申據之ととて今も万葉
古今倭書大和物語後深氏使衣八雲津抄
奥條抄袖中抄之外乃徳書ふ所なく
正誤と添刪一往新乃鼓波と補ひあま
く本所乃出所と引たり

和名乃云系ハ元上凡字若と稱ぐいろは
と云くは乃と云くハ無多あむれと云くハ
中抄抄ぬくも從平不為の凡やと云くハ
故小一飲乃中抄抄ぬく又最下乃字若と
踏く一と小又四十八ま乃の凡はと云くハ
あつと云くハ何れも一と云くハ何れも一
の凡は一と云くハ何れも一と云くハ何れも一
いふいふの凡は何れも一と云くハ何れも一

じりどろいふあり梅づがぬればむりどろが
 おもひこころすはさとりしらすとふふを
 まれり解のこくくかぞくへんるべし又是
 るあふ園状加く相級とあるなり上字の能
 と見く下字乃目ふりしむり阿ハ炭焼炭を
 乃前後小建のすそ何ふ見あつるもの様よ
 とやふんくしむりあつるものやん
 らぬなり

志どり萩

桐林徳目



一 けり井よ
 ① けり井よ
 けりあのみおろやよむハ池乃池とさむじり本とみ
 と云 穢穢とそれより池あおろけりあのみお
 ると云なり
 △ 小山田代あつるあつるあつるあつるあつるあつる
 △ 池あのみおろよのこころなれぬなり形がう年をふふ
 いさく井よ
 ① あつる井あり
 ② 稻と見る形く神又稻乃出るなり

○とくもが遠^合くさる^合云又福^合り一^合方^合び^合る^合と云
 と云○又川柳の下^合行^合あ^合ふ^合た^合あ^合く^合と^合柳^合の^合い^合び
 一^合方^合と^合云^合あり^合柳^合乃^合あ^合ふ^合く^合い^合る^合街^合あり

△秋の田^合の^合り^合の^合底^合乃^合の^合遠^合月^合中^合に^合た^合る^合あ^合ら^合か
 △岸^合の^合柳^合乃^合の^合遠^合れ^合あ^合る^合波^合小^合返^合せ^合て^合ど^合ろ

一^合い^合く^合ろ^合よ
 ④ くらあ^合ふ^合ぬ^合ま^合び^合と^合ら

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 山^合吹^合乃^合ゆ^合ら^合く^合又^合く^合ら^合あ^合の^合ち^合と^合云

一^合い^合れ^合く^合ろ^合よ
 ④ 心^合し^合く^合あ^合り^合心^合の^合く^合く^合あ^合と^合云

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 石^合乃^合た^合り

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 石^合乃^合あ^合く^合乃^合河^合小^合岩^合と^合掛^合乃^合も^合と^合云

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

△今^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

△今^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

△今^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

△今^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

△今^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

一^合い^合の^合あ^合ら^合よ
 ④ 一^合説^合石^合乃^合角^合と^合云^合又^合石^合小^合若^合日^合に^合く^合の^合あ^合ら^合き

いあづとよ ① ちぎりあり

いこもみ人よ ① 幾許の久し方よ幾許思異目鴨叶

いりあれた人よ ① ふあれた人ありま又人

いりけあれた人よ ① さらたふ又たあれたと云ふ

いりあれた人よ ① 抱う所女あり市女と計どろこ

いりそま人よ ① 是苗人とあそむあひ出いふ

いりそま人よ ① ちやいこあり

いりひのこまらちよ ① ひひとねあつるこあり

いりこたあちよ ① 石乃まありこるおあり

いりあせまよ ① ぬきあり又房庭しとあせま

いりあせまよ ① 秘する所又結ありと云八雲と云むい此況又名を

いりあせまよ ① 秋はあらず小秋交てと云も秋のあつあり定ま御

いりあせまよ ① 説ふれもあつた人があつ痛ひて入りあり作て居り

いりあせまよ ① 日記記ふつらとせまと云又嫁あまくと云男女のた

いりあせまよ ① いとをいよ ① 中夜もあり

いりあせまよ ① 若らりの契り ① うつられ神一秋ふかろうあり

いりあせまよ ① 秋のらさりそて本統せぬすふあり

いりあせまよ ① いりあせまよ ① 不ぞ不だのそとりに伝あしわり

いりあせまよ ① 垂あふいとどりのとろとれと云めんうと云記ふあ

いりあせまよ ① いりあせまよ ① 女とあつと云妹結と云又あり

いりあせまよ ① 女とあつと云妹結と云又あり

いりあせまよ ① 女とあつと云妹結と云又あり

いりあせまよ ① 女とあつと云妹結と云又あり

いりあせまよ ① 女とあつと云妹結と云又あり

いりあせまよ ① 女とあつと云妹結と云又あり

いりあせまよ ① 女とあつと云妹結と云又あり

いりあせまよ ① 女とあつと云妹結と云又あり

「さくらり」 ⑪ そろぐとあり

「いませりり」 ⑫ おらー西どあり 北座と云

「いらく夜」 ⑬ 多々夜つづき山嶽を此夜あり

「いらひふり」 ⑭ 極の字のふかきとくひさりハハ

てらとととえ一向と云又つらにんとも云

「さやとくぬり」 ⑮ やさきいぬりめついにし極まひ

いの極まひいもやとく極まひいといふは

ぬらあり万葉小癩の字宿の字どくあり

△ 養也のあやうく水行が極やいと極人ヤ

△ ちとられて月日になりま馬極は極い極まひ

△ 若ふ海のからふひのまふとけらあり極まひ

△ 時多一急つくとら極い極やとくぬり人もあり

「いんはり」 ⑯ 位ありいさらと月あり

「いんやとら」 ⑰ やとら極あり

「いんまら」 ⑱ 源氏おいまりさつと付とやと

ありあやぬと付とやとあり

「いんれら」 ⑳ くらあり

「いんれらと」 ㉑ 出入りあり万葉集に極とあり

「いんせの中」 ㉒ 夫ぬのまこ又まといと

いんせの中 ㉓ 夫ぬのまこ又まといと

「いんせの中」 ㉔ 夫ぬのまこ又まといと

△ さとれ入の極とらとらつ極とらとら

△ さとら今とらとらとらとらとらとら

七夕のほれれありさつとらとらとらとらとら

今まこと云ふあり今おあり

かごーのりこ天子よりこと終りかご
一あて踏奇乃とれとあり

又百様とかくあり

かごーち小田
④ どうーわり田あり 万イラヒロゴ代小田

けられあり

けられあり

のりとれをぬ種茶のりあり

△とれをぬ種茶のりあり

△とれをぬ種茶のりあり

△とれをぬ種茶のりあり

△とれをぬ種茶のりあり

のりとれあり

のりとれあり

のりとれあり

のりとれあり

八月十八日八幡乃作あり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

松の枝と種ひらきと新りあり

私と云も何事ありあきあきわうど船も七白船も百本
△又これ等のさくめが若船のありては門のわかれのうら

天のさくめを林もたのりてさくめをけつと若船と云もあり

いそぶよよ ⑤ やとさふんが川水あり 今也九月

△りごと川のせいのさうが船のふおあはけは月あり

船とつち船のふくも江中よりこれが中へ移るれば船

のわうゆふこれ月ありと云船の船とらうとつめこのと云

船とのふまは船とあらふのめと云ふこれたやどそのか

わうどは月のわどどらりあがりまはさくめあり

いそぶよよ ⑥ ろとすてうきくはく難防ふあり

二人と云と云あり八雲一方は倭國よりあり船と

いそぶよよ ⑦ 出船と云とあり

いそぶよよ ⑧ 舟あり いろひい見あり

いそぶよよ ⑨ つらふ花く平端と云り万あり

いそぶよよ ⑩ 魚と云万系 鯨魚と云り

いそぶよよ ⑪ 赤海士人乃名と云あり

いそぶよよ ⑫ 海あり 船日海原

いそぶよよ ⑬ 又さ乃幣あり

いそぶよよ ⑭ 又十ちかり也十寺同と云あり

いそぶよよ ⑮ どりやと云と云又これあり

いそぶよよ ⑯ 又これあり

いそぶよよ ⑰ 又これあり

いそぶよよ ⑱ 又これあり

七夜のあまふれ枕への又あま色のうり枕と云

「いまろくよ」 ⑤ 胸枕あり又うらなくくさきよ
ふとふ月びりころり

「おめつろよ」 ⑥ 表紙と云ふくくさきあり

「いもろひあしよ」 ⑦ 縁窓と云ふくくさきあり

「うらりくろよ」 ⑧ 肆 豊 志けと折くゆのあつり

「いさいよ」 ⑨ 勇と云ふくくさき真字の侍勢

物語お禁のまどまりあられが割とくろく又陳と云

「いさいよ」 ⑩ あくろふあり

「いそろろよ」 ⑪ 月あつろふあり

「いあまろよ」 ⑫ 可畏あり 何おも用く

「いさげのまのぬ」 ⑬ 又穀とふあり

「いあろくよ」 ⑭ 送ありあつろふあり

「いりりあくよ」 ⑮ 功勢ありあつろふあり せもあつろふ

「いあろくよ」 ⑯ 送ありあつろふあり

「いあろくよ」 ⑰ うらりくあり 野 穂ふあり

「いあろくよ」 ⑱ 寝安と云ふやと云ふあり

「いあろくよ」 ⑳ 又千代川の上と云ふね休と云ふ侍難あり

「いあろくよ」 ㉑ 侍勢と云ふと云ふあつろふあり

「いあろくよ」 ㉒ 店ふのまのぬと云ふあつろふあり

「いあろくよ」 ㉓ 多のろく肉の七と云外の七と云くつと云ふあり

「いあろくよ」 ㉔ 皇女と云ふあり

「いあろくよ」 ㉕ 皇女と云ふあり

△ 終つろ無のまのぬと云ふあり

○ 雑記

「りりあや」 ④ 入後あり舞ふあり終れあり

「りりあや」 ⑤ 四尺とるれ長と云幾寸約あり

「りりあや」 ⑥ 極極と云けとあり

「りりあや」 ⑦ いたつやと云ふ

「りりあや」 ⑧ せれあまありと云ふ

日ふ七十八玄海入極目の袖とわすず水目のわさ

「りりあや」 ⑨ 妹山月山三乃名之入和ふるを命あり

△ 備へていせのお中ひさるやわ川のーや世中

「りりあや」 ⑩ けくーと云ふと山と云ふり

「りりあや」 ⑪ 兄ろく佛あり

「りりあや」 ⑫ 系竹あり琴のゆえの終あり

「りりあや」 ⑬ 葬志の門ふ之竹あり。 但し亦ふぬれ
まの門にま

「りりあや」 ⑭ まとろー一村づくま竹あり

「りりあや」 ⑮ 偶さるやとあり

「りりあや」 ⑯ あらどとこ膝とろと云んまやの

「りりあや」 ⑰ りひ何と云ふあり

「りりあや」 ⑱ 命とひとくまこ万に對のまや

△ 極と鏡とめふ君とたそ社命にじうまろ悪ま

△ 玉まろり命にむふ鳥とりの君ろ小舟のあらはり

「りりあや」 ⑲ 虫小入畜ろとびたろ 舞ひふはら

ゆへれと入畜たり在子日登とる名極也城英疏細

養うまれのたをくわが情と云り 非有情非情

「りりあや」 ⑳ かるの社極のあり

「りりあや」 ㉑ ぬま物と云あり

○ 雑記

いざいざトハ

② 才莫り万十七いさざんひくは

いざいざトハ

⑤ 人中(出)くんぞあれた人のほより

いざいざトハ

⑥ 二百枝と去枝をりおるたあなり

いざいざトハ

⑦ ものとふふぞやあぐんなり万葉

いざいざトハ

⑧ きのまといそとよまをり信るんや又そともあ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

いざいざトハ

伊予守 伊予守

「いづれもやまよ」 ① 早稲と云ふもやうあり又うり

つけありん逸速イチハヤキたよ又世のよらたよとくつり

「いふまじよ」 ② 腹まじり狩ありつたまくたよ

「いあしよ」 ③ のかこいありあたり又のまじり目あ

「いふまじよ」 ④ 福ぞたよりあり

「いふまじよ」 ⑤ よまじりありゆあり

「いふまじよ」 ⑥ 十六日の月こ十六日の月ありとく

やまひておきくおらゆふとあり能方系能方系能方系

「五月と書つて十七十八日色極あり

△五月の月かたは後夜後夜まよやまからありと

「五月の月」 ⑦ 十六日の月おわらうらり万葉十七

△五月の月よとくはつてつるの事よまよ

保民おひさす月おゆぐりありわくがねんやとくなりこれハ

十六日の月の入るこ十六日おありゆとつり

△武士のやまらけの御代本にさす波のゆきまじり人丸

是も月のいんさくまじりまじりまじりまじり

△五月の御代の山さつたつてつるの事よまじり

「いふまじよ」 ⑧ 五月おひさすたつたつてつるあり

「いふまじよ」 ⑨ 福ぞとまじりくも同ありとく

後まじり亦のまじりまじりまじりまじりまじり

ふもまじりおんめふつらつらとまじりまじりまじり

是の夫のまじりまじりまじりまじりまじりまじり

「いふまじよ」 ⑩ 福のまじりの後おまじりまじりまじり

系あままじりまじり

系あままじりまじり

系あままじりまじり

系あままじりまじり

いふは...
いふは...

女乃ふ貞わの時さへてうすうとひり 内外の流

△ちのあよたぎらけ世世世のおせあひい 見ハ大師の流の...

△おせおれぬりうんりり 見ハ大師の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

吉野川若切 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

いし 見ハ博士の流の...

「もろれりよ」

⑩ 妻乃けり〜とあり

「花乃あふよ」

⑪ 梅あり

「花もひかへふ」

⑫ 花もひかへふ〜とあり

△打後と云ふ方へおかし我をば〜と云く嘆くは何の花と云

△是れはひのふ先候と云へぬ花もひかへふと云ふは花のさへ

花二首あ〜と云ふは七と云れりは一句あり〜と云

△是の心は花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

らじと云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

△は〜と云ふは花もひかへふと云へぬは我と云へん花のさへ

結城

廿八

「いふのまづよ」 ④ ちのうーきりなり

「ころふれよ」 ⑤ 妻をいれどと云ふをいれたるは因の

「いれどもいれられ秋されといふはくは

「いふのれよ」 ⑥ 本どあ乃りあり

「いれれよよ」 ⑦ ちのうーきりなり花を衣はなをきぬ

「いれくよ」 ⑧ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑨ 山島あり

「いれんの後よ」 ⑩ 林種ハ六月あり又輝のうよと云

「いれんよ」 ⑪ わーいよあり

「いれんよ」 ⑫ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑬ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑭ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑮ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑯ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑰ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑱ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑲ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ⑳ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ㉑ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ㉒ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ㉓ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ㉔ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ㉕ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ㉖ ちのうーきりなり

「いれんよ」 ㉗ ちのうーきりなり

〇 愚問

は

十八

△此くづの木のたゞとて金でうまのまを此後と云く

解官とくくぶれまそつと位とありまかこれより此二
たびまゝの酒器用とくひまら奇あり

一 花のぬのやよ ④ 東伏の小庭 土垣小庭ありま

一 花やまよ ⑤ 都ひびく山ふま花山あり 龍湖ま

一 山やの山よ ⑥ 仙人乃後山あり又仙洞ありありあり

一 みるるま一 函とあこれとてあり

一 花のつよよ ⑦ 玉とまら神あり

一 花のつよよ ⑧ 三徳神のうらひままは紙のやん

一 花とまよよ ⑨ ちくまら神あり

一 花とまよよ ⑩ 花とまら神あり

一 虫のしあえ又旬通の嬰児のり貞あり

一 花のつよよ ⑪ 花のつよよ花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑫ 花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑬ 花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑭ 花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑮ 花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑯ 花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑰ 花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑱ 花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑲ 花のつよよ花のつよよ

一 花のつよよ ⑳ 花のつよよ花のつよよ

雲小丸様小あらず候小あらず候なり

一 山本山本 ① 舟とつあぐまこ又物と海とかがかり

一 山本山本 ② もとささづきふかどくふかどく一箱

一 山本山本 ③ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ④ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑤ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑥ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑦ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑧ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑨ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑩ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑪ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑫ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑬ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑭ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑮ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑯ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑰ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑱ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑲ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ⑳ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ㉑ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ㉒ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ㉓ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ㉔ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ㉕ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

一 山本山本 ㉖ 山本山本の尾尾ありあつた尾とていひと云

尺くおくとつち中あり又山名三つと

花のか見よ ③ 花乃うらうあど花のか見よ

年とて花乃鏡とありあふ花がさやうらうらん住持
すす水鏡に鏡とあり花と撫小うら花のささあ 八具

いふりの林よ ③ 本とちり林山娘と拍はささ八をさ

橋政を政大に本乃と紙さる林とさ小海一まんとこ
か一は本小ありされをささあさささささ

△時とほれさささの林さ月ほささぬ葉の拍木

△ま拍ささささささささささささささささ

いあこの紙よ ③ 標と書さささささささささ

かこのかきとあり

③ 花進と云花はささささ

いささささささ ③ さささささささささささ

いささささささ ③ さささささささささささ

車中もささささささささささささささささ
仕付さささささささささささささささ

小車乃見とれ山風秋文とさささ

いささささささ ③ ささささささささささ

いささささささ ③ ささささささささささ

いささささささ ③ ささささささささささ

いささささささ ③ さささささささささ

いささささささ ③ さささささささささ

いささささささ ③ さささささささささ

をさるるちしとありりちるる

① ちるる石よ

② ちるる石よ何り

③ ちるる石よ何りてを云教詩と出よや

ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

△カハと云ふ石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

④ ちるる石よ何り

⑤ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑥ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑦ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑧ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑨ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑩ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑪ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑫ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑬ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑭ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑮ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑯ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑰ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

⑱ ちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

△かざるる石よ何りて又しちるる石よ何りて又しちるる石よ何りて

一 今とあへて教がかりと云ふ ② 法界異進地あり

○ 凡

一 ゆくま井人 ④ 無小まるとく風了に付る二行 諸付と云

一 ぬぐりま ⑤ 今すまふあふまふに 紙おとふまふあり

一 今すまふとくろあり 服色あり

一 今すまふとく ⑥ 教乃あり一川あり 極河あり

一 ぬぐりま ⑦ 和母と云七々の 獄と云又云に二布た

一 ぬぐりま ⑧ 海徒、紀綱而過庭と云るあり

一 ぬぐりま ⑨ 子乃教あり 親の教あり又教あり

一 ぬぐりま ⑩ 使中國ニ方置あり

一 ぬぐりま ⑪ 七々のま向ふ庭小まふあり

一 ぬぐりま ⑫ 二の通ありひんまふ二所のまあり

一 ぬぐりま ⑬ 新ふにたりありと云

一 ぬぐりま ⑭ 才二と云ふこつふにまあり

一 ぬぐりま ⑮ うかひまあり

一 ぬぐりま ⑯ 庭教あり

一 ぬぐりま ⑰ 似らると云ふ縁あり

一 ぬぐりま ⑱ 荒波の枕あり 帝徳國の神あり

一 ぬぐりま 又八雲ふあひさひあり

一 ぬぐりま ⑲ 旅人のまふは 羽院徳枝の國あり

一 ぬぐりま されを給ひてうに 清めて 詠奇

△ 我社の新修ありと云ふ 詠の海ありと云ふ 風ありと云ふ

一 ぬぐりま ⑳ 謝あり

一 ありしりよ ④ 扱乃るも二日八あり八重小まき

く突とあり又うしめて突たえり時々の為うある

一 ありあよ ⑤ 手んととれがぶらあて赤圓ふら

一 ありさくよ ⑥ 産橋と云葉あり

一 ありまろよ ⑦ ともめて焚るまろよと云

一 ありあくよ ⑧ 似合ぬるあり

一 ありろくよ ⑨ 西門ろくく産あり

一 ありくよ ⑩ 二おたと云るあり

一 ありあはるよ ⑪ 新産どあり万系よあり

一 あり乃山よ ⑫ あり川と云大和あり

一 ありさろよ ⑬ ありさるも無の媒又麻の糸

一 ありまよ ⑭ 新産あり又新産ちい流人あり

一 ありし車よ ⑮ 天照志林乃此産と産お車と後お

産ありと云後乃ありまよとあり

一 ありんよ ⑯ 産あり民らるるんあり林あり

とれ産のりてまれの産のりまよの産ひ小かりに産産

一 ありふよ ⑰ けろの女八重とありあふよとあり

一 ありきよ ⑱ ありき後乃中おつこころるあり

一 ありよ ⑲ 万系小ありまよの産のつとれろと云

一 ありてよ ⑳ 丹木よと云帯と白帯 赤帯

一 ありんよ ㉑ 産乃るるも産かんまよと云

一 ありよ ㉒ あり女乃門おまろと云んありこふも同あり

八重と産乃の拍岸系乃扱ありこふた交の産と云

一 後産ありあり産産が産産の表男と云よらん

外乃らりトハ ④ 野ツチ極ツチふりりのまありこわり

かたけりしトハ ⑤ 植ホふせらるハ瓜ウりらあり

佛の如ニ雅ヤ故コトハ ⑥ 津ツ田チふあしす大和の雅ヤ故コトハ

はつハつツまマのノ繩ヅナトハ ⑦ 帆ホじジらラまマ中ナカにニ所トコロありふと

さサ木キまマ瓜ウりリあり ⑧ 物モノれレ強ツヨクれレるルとト徳トクふフとト大オホ

あアとト帆ホあアもモとトまマくクとトあり

古 △秋アキのノたタ極ツキ中ナカ社ヤ人ヒトとトいイひヒまマめメとトらラふフまマたタれレとト見ミ

万 △日ヒ後ノチまマめメ石イシのノ浦ウラふフけケらラ大オホのノ物モノたタ社ヤあアりリとト見ミ

古 △秋アキ風カゼふフとト帆ホあアけケてテらラ舟フネのノ天アメのノ後ノチらラあアらラとトあり

かカとトくクトハ ⑨ 船フネあり

かカとトりリとトせセりリトハ ⑩ まマまマのノとトあり

かカたタぬヌらラトハ ⑪ あアらラりリとトあり

かカとトまマあアらラトハ ⑫ 帝ミカド王ミコ元ノ日ヒのノ曉アカサカ星ホシとトあり

かカたタとトあアらラトハ ⑬ ふフあアくクとトあり

かカたタとトあアらラトハ ⑭ あアらラりリとトあり

かカとトあアらラトハ ⑮ 秋アキあり七月十日ニ候コト列レツ々ツツとトあり

かカたタゆユきキらラトハ ⑯ 勢セキ乃ノ名ナあり

かカとトあアらラトハ ⑰ うウとトあアらラとトあり

かカとトあアらラトハ ⑱ 義ギ人ヒトのノとトあり

かカとトあアらラトハ ⑲ 二月十六日あり

かカとトあアらラトハ ⑳ 七夕タニシ乃ノあり

かカとトあアらラトハ ㉑ 瓜ウりリあり

いふ年あり

④ 年あり

いふ年あり

⑤ 年あり

いふ年あり

⑥ 年あり

いふ年あり

⑦ 年あり

いふ年あり

⑧ 年あり

いふ年あり

⑨ 年あり

いふ年あり

⑩ 年あり

いふ年あり

⑪ 年あり

いふ年あり

⑫ 年あり

いふ年あり

⑬ 年あり

いふ年あり

⑭ 年あり

いふ年あり

⑮ 年あり

いふ年あり

⑯ 年あり

いふ年あり

⑰ 年あり

いふ年あり

⑱ 年あり

いふ年あり

⑲ 年あり

いふ年あり

⑳ 年あり

いふ年あり

㉑ 年あり

いふ年あり

㉒ 年あり

いふ年あり

㉓ 年あり

いふ年あり

㉔ 年あり

いふ年あり

㉕ 年あり

いふ年あり

㉖ 年あり

いふ年あり

㉗ 年あり

いふ年あり

㉘ 年あり

いふ年あり

㉙ 年あり

いふ年あり

㉚ 年あり

いふ年あり

㉛ 年あり

いふ年あり

㉜ 年あり

いふ年あり

㉝ 年あり

いふ年あり

㉞ 年あり

いふ年あり

㉟ 年あり

△ 漢語のいふ年ありとていふは松山小島城のいふ年あり

△ 漢語のいふ年ありとていふは松山小島城のいふ年あり

△ 漢語のいふ年ありとていふは松山小島城のいふ年あり

△ 漢語のいふ年ありとていふは松山小島城のいふ年あり

△ 漢語のいふ年ありとていふは松山小島城のいふ年あり

△ 漢語のいふ年ありとていふは松山小島城のいふ年あり

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑤ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑥ 〇〇〇〇〇〇〇〇の奇の年の月の三三三

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇の月に三三三〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑦ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑧ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑨ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑩ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑪ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑫ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑬ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑭ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑮ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑯ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑰ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑱ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑲ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ⑳ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉑ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉒ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉓ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉔ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉕ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉖ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉗ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉘ 〇〇〇〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇 ㉙ 〇〇〇〇〇〇〇〇

年乃乃極へ玉なる所へ終へんと
④ 日の出るやしとよまのりくつひの命と
一二月あ

① 多乃あふれとふ
② 橋造と妻とふも野をみた地と

③ 佛をあり 独站をりあり
④ 多とたと云又響りともいふ

⑤ 一と年とふ流に速字あり
⑥ 尾をととたつじつしたとと日

八重ふのくく十尾と云り橋補いふと乃
このりももはみく漢字の扱とつじつと別
やれど
⑦ 伴乃男あり

⑧ 多乃あふれとふ
⑨ 多乃あふれとふ

⑩ 多乃あふれとふ
⑪ 多乃あふれとふ

⑫ 多乃あふれとふ
⑬ 多乃あふれとふ

⑭ 多乃あふれとふ
⑮ 多乃あふれとふ
⑯ 多乃あふれとふ
⑰ 多乃あふれとふ
⑱ 多乃あふれとふ
⑲ 多乃あふれとふ
⑳ 多乃あふれとふ
㉑ 多乃あふれとふ
㉒ 多乃あふれとふ
㉓ 多乃あふれとふ
㉔ 多乃あふれとふ
㉕ 多乃あふれとふ
㉖ 多乃あふれとふ
㉗ 多乃あふれとふ
㉘ 多乃あふれとふ
㉙ 多乃あふれとふ
㉚ 多乃あふれとふ
㉛ 多乃あふれとふ
㉜ 多乃あふれとふ
㉝ 多乃あふれとふ
㉞ 多乃あふれとふ
㉟ 多乃あふれとふ
㊱ 多乃あふれとふ
㊲ 多乃あふれとふ
㊳ 多乃あふれとふ
㊴ 多乃あふれとふ
㊵ 多乃あふれとふ
㊶ 多乃あふれとふ
㊷ 多乃あふれとふ
㊸ 多乃あふれとふ
㊹ 多乃あふれとふ
㊺ 多乃あふれとふ
㊻ 多乃あふれとふ
㊼ 多乃あふれとふ
㊽ 多乃あふれとふ
㊾ 多乃あふれとふ
㊿ 多乃あふれとふ

△ 多乃あふれとふの補のこまふとこまふの天とせむ

是ノ山上懐良リ松ノ乃玉河川亦道ヲ^{セウ}ア^クけり
物^ツトウ女^メノガ^カら^める^りと^どれ^り何^レノ^里ノ^りあり
家^ノお^もろ^くと^うく^くの^神仙^ノ向^ク女^ノ家^ノあ^りて^言
て^云ら^か物^トら^りれ^り里^トあ^りく^く山^ノあ^り
あ^とあ^りと^云そ^れと^はあ^りれ^りあり^とこ^これ
個^ノ水^乃せ^うい^し仙^遊も^もく^くと^ここ^こあ^り
個^ノお^りの^浦傍^ガあ^りま^もと^ここ^こあ^り

い^れお^もろ^くと^うく^く宿^止あ^り

と^ここ^こあ^り ② 支^取ノ^中と^ここ^こあ^り ③ 常^羅あ^り

帝^ト云^ふ字^ハ又^ハ床^トと^云は^れり^常羅^ノあ^り

時^ノも^あれ^り ④ 時^ノと^あれ^り時^ノと^あれ^りと^云ふ

時^ノも^あれ^り時^ノと^あれ^り時^ノと^あれ^りと^云ふ

時^ノも^あれ^り時^ノと^あれ^り時^ノと^あれ^りと^云ふ

と^れり^のと^ここ ⑤ 女^乃名^ガあ^り又^ハ古^ノ今^ノ他^ノあ^り

と^ここ^こあ^り ⑥ 末^ノ世^ノあ^りて^ここ^こ外^ノあ^り

十^ノ二^ノの^松よ ⑦ 十^年ふ^すび^花く^松十^カつ^のあ^り

一^年あ^りて^終ふ^りぬ^松 ⑧ 一^年あ^りて^終ふ^りぬ^松

年^々而^{シテ}松^梅後^羽と^云ふ^あり

一^言持^て身^ハ言^ハあ^り時^ノ社^ノ終^ハら^ぬ松^もあ^り

果^實述^懐乃^奇

一^十年^あり^て乃^ハ洞^ノを^色か^り終^ぬり^ぬ松^もあ^り

一^とこ^こあ^り ⑨ 在^るあ^りと^ここ^こあ^りと^云ふ^あり

△ 松^ノと^云ふ^下と^云ふ^上り^姉と^云ふ^下り^妹と^云ふ^上り^松と^云ふ^下り^妹

又^床と^云ふ^下り^小と^云ふ^上り^花の^心と^云ふ^奇も^あり

花屋のつれづれおあふは床あれはすねやうりあけりあり

「多れそよよ」 ⑤ 清が納まの藤ふもさき草屋をいふ人

奈とのづれて中園おゆり時夜函書あくと庭をよれまよ

と「それお実徳の庭も」とくく花と出でて啼つさ

多に実ち目とさゆて実どのより版雜どのれあし

「さー」ひれ花よ ④ 老と云わり下子りしりた云

「さー」おのの花よ ④ 四時美とま夏秋のあふ心 美あひハ
赤よまど

「さー」おのまよあよ ④ さ紙さささゆあり

「さー」よさう枕よ ④ 八雲ふあり

「さー」おのの枕よ ④ 小麦さささみそささる枕あり

「さー」さささよ ④ 香高と虫さささいゆりあまじ

「さー」さささよ ④ 梅香ふ時さささされさささ

「さー」さささよ ④ 大和小わり

「さー」さささよ ④ ひぐきあり

「さー」さささよ ④ さげぬあり

「さー」さささよ ④ かさささおき小あり

「さー」さささよ ④ 橋ありささされ花をさかたれささ云

「さー」さささよ ④ さささささぬあり

「さー」さささよ ④ さささささぬあり

「さー」さささよ ④ 花系紙とたれく物とたれさた物とた

「さー」さささよ ④ ていさささゆ さささあり

「さー」さささよ ④ 出帯ささあり

「さー」さささよ ④ さささささあり

「さー」さささよ ④ さささささあり

「さー」さささよ ④ さささささあり

「さー」さささよ ④ さささささあり

「さー」さささよ ④ さささささあり

庭あかり鴨井果あさささ万葉小多個と虫ささし将こ

さささささあり

ありたれぬの囃と云うと云う物なれば東天光二つと

一外山トハ

① 源わぬ山あり

△源わぬ外山の禰光と云うと云う木の身付はあり

一多船山トナフネ

② 檜造抄ニ東山ありと云う史年乃と云う

と云うこれと今ハ傳ふ大船乃と云うと云う多船野と云

一常陸トコノ

③ 常陸を法隆寺と云う常陸の

伝言のあり。山乃と云うと云うあり

一多さけふトサケフ

④ それ方禰光と云うと云うと云う

又遊多船あり

一とらでトラデ

⑤ とらでと云うあり

一とらトラ

⑥ とらと云うあり

一とらトラ

⑦ 流目伝て使物と云うと云うと云う

一とらトラ

⑧ 茶平乃後あり

一とらトラ

⑨ 茶平乃後あり

一とらトラ

⑩ 茶平乃後あり

一とらトラ

⑪ 茶平乃後あり

一とらトラ

⑫ 茶平乃後あり

と云う亦木切と云うと云うと云うと云うと云うと云う

と云うと云うと云うと云うと云うと云うと云うと云う

と云うと云うと云うと云うと云うと云うと云うと云う

と云うと云うと云うと云うと云うと云うと云うと云う

と云うと云うと云うと云うと云うと云うと云うと云う

と云うと云うと云うと云うと云うと云うと云うと云う

と云うと云うと云うと云うと云うと云うと云うと云う

一経国

一七七

とくもれもれよ① ちかみとくもれのきと② 風の枝竹のきと③

とよみよ④ ちかみとくもれのきと⑤ 風の枝竹のきと⑥

とたいくりたよ⑦ 美共しく云ふなり⑧ みるれどおみり⑨

年よつむ月よ⑩ 十二月なり⑪

ゆきめよ⑫ あとるもれ後⑬ ことあめり⑭ 後⑮

ととあめり⑯ みるれどおみり⑰ みるれどおみり⑱

とどろりぬよ⑲ 時どろりぬよ⑳ みるれどおみり㉑

とよみよ㉒ みるれどおみり㉓ みるれどおみり㉔

とよみよ㉕ みるれどおみり㉖ みるれどおみり㉗

とよみよ㉘ みるれどおみり㉙ みるれどおみり㉚

とよみよ㉛ みるれどおみり㉜ みるれどおみり㉝

とよみよ㉞ みるれどおみり㉟ みるれどおみり㊱

とよみよ㊲ みるれどおみり㊳ みるれどおみり㊴

とよみよ㊵ みるれどおみり㊶ みるれどおみり㊷

とよみよ㊸ みるれどおみり㊹ みるれどおみり㊺

とよみよ㊻ みるれどおみり㊼ みるれどおみり㊽

とよみよ㊾ みるれどおみり㊿ みるれどおみり㋀

とよみよ㋁ みるれどおみり㋂ みるれどおみり㋃

とよみよ㋄ みるれどおみり㋅ みるれどおみり㋆

とよみよ㋇ みるれどおみり㋈ みるれどおみり㋉

とよみよ㋊ みるれどおみり㋋ みるれどおみり㋌

とよみよ㋍ みるれどおみり㋎ みるれどおみり㋏

とよみよ㋐ みるれどおみり㋑ みるれどおみり㋒

とよみよ㋓ みるれどおみり㋔ みるれどおみり㋕

とよみよ㋖ みるれどおみり㋗ みるれどおみり㋘

とよみよ㋙ みるれどおみり㋚ みるれどおみり㋛

とよみよ㋜ みるれどおみり㋝ みるれどおみり㋞

ちぢぐのあがみよ ㊦ 千支のあがみあり
ちぢぐのさうよ ㊧ 立腕虎あり 嘉乃さうふあらず
人さうしびらふ乃さうふありさうと云

ちぢぐの推よ ㊨ 屯本さうらあり
ちぢりてあよ ㊩ の礫あり 一禪よ 林への来んは祈

ちぢぐの車よ ㊪ 抱とあまこつて牛の引車
ちぢぐのびよ ㊫ 竹のさうふ為茶を去り又地卵

乃竹あり 清浄なる乃水あふう地らぬも云
ちぢぢのやよ ㊬ 祿糸乃時緯と茶のまはしまし

ちぢぢとよ ㊭ ちぢ乃まさとさありさうのぼとの
ちぢぢのさよ ㊮ ちぢぢのさうひあり

ちぢぢよ ㊯ ちぢぢあり 秋乃糸よも云あひ乃

ちぢぢとよ ㊺ ちぢぢあり 秋乃糸よも云あひ乃

ちぢぢとよ ㊻ ちぢぢあり 秋乃糸よも云あひ乃

ちぢぢとよ ㊼ ちぢぢあり 秋乃糸よも云あひ乃

ちぢぢとよ ㊽ ちぢぢあり 秋乃糸よも云あひ乃

ちぢぢとよ ㊾ ちぢぢあり 秋乃糸よも云あひ乃

ちぢぢとよ ㊿ ちぢぢあり 秋乃糸よも云あひ乃

ちぢぢとよ ㊿ ちぢぢあり 秋乃糸よも云あひ乃

△大おけもろく終くこよひのこのま酒もちのこよひの夏

先いじくし赤門系中めくおのまりて酒とのびるを

禁ぐのふあられをユ人のゆくし多あよりかく懐く

ちぐへの神よ ③ 陰神かかれ多ふとめいどりよりとひを

神ありめのとんかす神く陰神いさかをたす

ちとぎきこよ ③ 昭石乃中まをり

ちくひのこよよ ③ 佛法あり仏法乃大海をどま

ちびのたの石よ ③ 千人をそりまをく引大をあり

ちりちとよとよ ③ ちりちとよとよとあり

ちりぐ神よ ③ 舞乃つりりらとまふあり

ちく終びよ ③ ちりくよとんまあり

ちくさのよとよ ③ ちくさのよとよとあり

ちりりるまがひよ ⑤ 散はぶるれをり

ちくさのよとよ ⑤ 母乃君とちりよあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

ちえのよとよ ⑤ ちえのよとよとあり

〇ぬ
一ぬさふらろよ ④ よそ入るふ幣と結ぶく袋お入
てつらととびとびあくるよとととたふらろあり
ぬあはよ ④ ぬあはあり 蕪乃乃字に はあひと再
ぬさくは ④ 宿馬樂乃奇也 貫川あり

〇り
一りらのまぶよ ④ 秋冬乃洞みし律ハ秋を 呂ハまを

ぬきまへハ ① 人あざむくうらむくうなり

ぬきまへハ ② 拙おけづらひ

ぬきまへハ ③ たれそとあつてむら多かりをばお

まき小まどとくへておのがそとあつてめめれづらひなり
まきおれとくくどんくま目ま方へおてまきとくど

ぬきまへハ ④ 偷起スチキ 勢セのあひてまのくげと死シ

ぬきまへハ ⑤ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑥ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり
ぬきまへハ ⑦ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑧ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑨ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑩ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑪ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり
ぬきまへハ ⑫ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑬ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑭ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑮ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑯ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり
ぬきまへハ ⑰ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑱ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

ぬきまへハ ⑲ 寄キ衣イ 浦ウ衣イ 人ニ乃ハ科カとをふりなり

① 多願乃らんくのぞ
 ② 狭海橋あり林代乃ぞ
 ③ 大橋と云車に別車と因ぞ
 ④ 奥列ぞざらとつふあり
 ⑤ わーさるなり
 ⑥ 柳とありさるあり
 ⑦ 鬼の子のひのひの
 ⑧ どののり海系あり
 ⑨ 半笛あり一祝あびとれ鉄笛
 ⑩ 志げくし云んし鐵道と云かぞ
 ⑪ 衣とりとるくおざらつぐあり
 △是の山耐きどりてはる海とらや海との事也

△川社をぬれりてはる衣いれやせむと七月ひざん貴し
 ① 鬼志れ人た云鬼の橋ありて人あり
 ② 鬼乃志と系よ ③ 鬼志許系と云は系をせし入系た云
 ④ 系あり ⑤ 系あり ⑥ 系あり
 ⑦ 系あり ⑧ 系あり ⑨ 系あり
 ⑩ 系あり ⑪ 系あり ⑫ 系あり
 ⑬ 系あり ⑭ 系あり ⑮ 系あり
 ⑯ 系あり ⑰ 系あり ⑱ 系あり
 ⑲ 系あり ⑳ 系あり ㉑ 系あり
 ㉒ 系あり ㉓ 系あり ㉔ 系あり
 ㉕ 系あり ㉖ 系あり ㉗ 系あり
 ㉘ 系あり ㉙ 系あり ㉚ 系あり
 ㉛ 系あり ㉜ 系あり ㉝ 系あり
 ㉞ 系あり ㉟ 系あり ㊱ 系あり
 ㊲ 系あり ㊳ 系あり ㊴ 系あり
 ㊵ 系あり ㊶ 系あり ㊷ 系あり
 ㊸ 系あり ㊹ 系あり ㊺ 系あり
 ㊻ 系あり ㊼ 系あり ㊽ 系あり
 ㊾ 系あり ㊿ 系あり

① くらりのはりありとひさひさのむらてあやぐと云
 ② くらりさうぶと云
 ③ くらり本をてけり處にうらふ海と云
 ④ くらり本よ
 ⑤ くらり位乃時出と云
 ⑥ くらり本よ
 ⑦ くらり本よ
 ⑧ くらり本よ
 ⑨ くらり本よ
 ⑩ くらり本よ
 ⑪ くらり本よ
 ⑫ くらり本よ
 ⑬ くらり本よ
 ⑭ くらり本よ
 ⑮ くらり本よ
 ⑯ くらり本よ
 ⑰ くらり本よ
 ⑱ くらり本よ
 ⑲ くらり本よ
 ⑳ くらり本よ
 ㉑ くらり本よ
 ㉒ くらり本よ
 ㉓ くらり本よ
 ㉔ くらり本よ
 ㉕ くらり本よ
 ㉖ くらり本よ
 ㉗ くらり本よ
 ㉘ くらり本よ
 ㉙ くらり本よ
 ㉚ くらり本よ
 ㉛ くらり本よ
 ㉜ くらり本よ
 ㉝ くらり本よ
 ㉞ くらり本よ
 ㉟ くらり本よ
 ㊱ くらり本よ
 ㊲ くらり本よ
 ㊳ くらり本よ
 ㊴ くらり本よ
 ㊵ くらり本よ
 ㊶ くらり本よ
 ㊷ くらり本よ
 ㊸ くらり本よ
 ㊹ くらり本よ
 ㊺ くらり本よ
 ㊻ くらり本よ
 ㊼ くらり本よ
 ㊽ くらり本よ
 ㊾ くらり本よ
 ㊿ くらり本よ

くらり

くらり

くらり

くらり

① くらり本よ
 ② くらり本よ
 ③ くらり本よ
 ④ くらり本よ
 ⑤ くらり本よ
 ⑥ くらり本よ
 ⑦ くらり本よ
 ⑧ くらり本よ
 ⑨ くらり本よ
 ⑩ くらり本よ
 ⑪ くらり本よ
 ⑫ くらり本よ
 ⑬ くらり本よ
 ⑭ くらり本よ
 ⑮ くらり本よ
 ⑯ くらり本よ
 ⑰ くらり本よ
 ⑱ くらり本よ
 ⑲ くらり本よ
 ⑳ くらり本よ
 ㉑ くらり本よ
 ㉒ くらり本よ
 ㉓ くらり本よ
 ㉔ くらり本よ
 ㉕ くらり本よ
 ㉖ くらり本よ
 ㉗ くらり本よ
 ㉘ くらり本よ
 ㉙ くらり本よ
 ㉚ くらり本よ
 ㉛ くらり本よ
 ㉜ くらり本よ
 ㉝ くらり本よ
 ㉞ くらり本よ
 ㉟ くらり本よ
 ㊱ くらり本よ
 ㊲ くらり本よ
 ㊳ くらり本よ
 ㊴ くらり本よ
 ㊵ くらり本よ
 ㊶ くらり本よ
 ㊷ くらり本よ
 ㊸ くらり本よ
 ㊹ くらり本よ
 ㊺ くらり本よ
 ㊻ くらり本よ
 ㊼ くらり本よ
 ㊽ くらり本よ
 ㊾ くらり本よ
 ㊿ くらり本よ

小札

日本記
各競

一 引くまじりよ ④ 徳が徳とていふくまじりあり
あつてふじたまふ乃極とていふくまじりあり

一 引くまじりよ ⑤ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑥ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑦ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑧ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑨ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑩ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑪ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑫ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑬ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑭ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑮ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑯ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑰ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑱ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ⑳ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉑ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉒ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉓ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉔ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉕ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉖ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉗ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉘ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉙ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉚ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉛ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉜ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉝ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉞ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㉟ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊱ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊲ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊳ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊴ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊵ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊶ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊷ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊸ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊹ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊺ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊻ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊼ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊽ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊾ 引くまじりあり

一 引くまじりよ ㊿ 引くまじりあり

一 かつがせとよ

② 万葉 部勢指と云又吾家子ころろ

一 かつがせとよ

② 万葉 昔妹鬼と云又脇母子 昔のうし

△ かつがせとよ 衣まぬらうとにのべりあどりいりこまきりなり

△ かつがせとよ ねふやりて塩が飯の難が傳乃松ぞ久世

△ かつがせとよ 縁をねがと橋爪の津の玉りこるぞ世の

一 かつがせとよ ① まりあてこよとられてのゆもま

△ 青のふれせく入らるる月のもれて指ふはゆもま

△ ままより出らるる岩のまられてぞふいりあわぬま

△ 瀬とまを若ふせうく 瀬川のまられても末ふわりんぞふ

一 かつがせとよ ① 方分てあり

一 かつがせとよ ① まりあてこよとられてのゆもま

一 かつがせとよ ① 庵げーあうらまあり 遺言こま

一 かつがせとよ ① 松ふまればくとあうらまあり 亦新ふまうまあり

一 かつがせとよ ① 又傳りーふわりとそれの松とふありとこり

一 かつがせとよ ① 胡をあり後新抄ふま一 流るる

一 かつがせとよ ① まりあてこよとられてのゆもま

一 かつがせとよ ① まりあてこよとられてのゆもま

一 かつがせとよ ① 候傳りねがりふ葉とらふいりこま

一 かつがせとよ ① △ うらつとみねまげふあまあまの流がんま

一 かつがせとよ ① △ 物まらあまがこまのまらうま

一 かつがせとよ ① 然るれまらこま

一 けしめたよ ①天乃岩戸乃かざらせしりあり
一 ころあれたよ ②至^{トワ}神理と云 至^{トワ}神と云らあり
又云んころあれたよ

△ころあれたよ 録てとえてもあつらふとらわらばるん
△ふとそらりあれたよ 録てとえてもあつらふとらわらばるん

一 ころの神よ ③いざあだのま衣とまげしと神とあり
又衣乃名ありん云八重とまてくひ乃神とあり

一 ころの神よ ④さほく物とせしとら神と
ころの神よ ⑤さやいのりやせり乃宿あり

一 ころの神よ ⑥海乃怒名なり海神ととまてくひ
つれとたふ海神と云 神と山神とつり

一 ころの神よ ⑦ころあれたよ ⑧ころあれたよ
ころあれたよ ⑨ころあれたよ ⑩ころあれたよ

一 ころの神よ ⑪ころあれたよ ⑫ころあれたよ
ころあれたよ ⑬ころあれたよ ⑭ころあれたよ

一 ころの神よ ⑮ころあれたよ ⑯ころあれたよ
ころあれたよ ⑰ころあれたよ ⑱ころあれたよ

一 ころの神よ ⑲ころあれたよ ⑳ころあれたよ
ころあれたよ ㉑ころあれたよ ㉒ころあれたよ

一 ころの神よ ㉓ころあれたよ ㉔ころあれたよ
ころあれたよ ㉕ころあれたよ ㉖ころあれたよ

一 ころの神よ ㉗ころあれたよ ㉘ころあれたよ
ころあれたよ ㉙ころあれたよ ㉚ころあれたよ

「かごぶとよ」 ① 乃乃又まかり又かごく、まも回か

「かりんよ」 ① 備降あり 持人

「かごんよ」 ① 粒くこ人と云り

「かごんよ」 ① 万系又去浦道遠見又人徳が

「かごんよ」 ① じま入るるすありもハ林仙乃るあり

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① 聖彦人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

「かごんよ」 ① かにあつ人よ ① かにあつ人、まを教人のまをるる人

かごんよ

守あり

「かり夜よ」 ② 袴袴のふし撒下るるもろもろ

「かどりの夜よ」 ③ 伏香小かほりともあもせよ小夜よ

「かどりぬよ」 ④ 人救あぬるあり去人のあり

「かどりぬよ」 ⑤ 或況小救あぬるあり世にがまはれらる程乃

「かどりぬよ」 ⑥ 人乃もあつとぞりこの終ふ程一白かどりあつた人

「かどりぬよ」 ⑦ 或いもささふ及つとあがりげおいぬめしとあり

「かどりぬよ」 ⑧ 蚊遣火まきつとあり

「かどりぬよ」 ⑨ かくあつとさるもあつたもあつた

「かどりぬよ」 ⑩ さうして夫乃七賣乃あぬのあべり

「かどりぬよ」 ⑪ 人乃さうしてあつたあり

「かどりぬよ」 ⑫ 襦袢のまじりあつたあり

「かどりぬよ」 ⑬ 袴袴の舞乃あつたあり

「かどりぬよ」 ⑭ 衣れあつたあり

「かどりぬよ」 ⑮ さやうあつたあり源氏あつたあり

「かどりぬよ」 ⑯ 虫あつたあり

「かどりぬよ」 ⑰ 袴袴のあつたあり

「かどりぬよ」 ⑱ 袴袴のあつたあり

「かどりぬよ」 ⑲ 袴袴のあつたあり

「かどりぬよ」 ⑳ 袴袴のあつたあり

「かどりぬよ」 ㉑ 袴袴のあつたあり

「かどりぬよ」 ㉒ 袴袴のあつたあり

一 かくつとよ ㊦ 隠^{カクレ}とと作^{ツク}勢^セ物^{モノ}たりふら

一 かくよ ㊦ 隠^{カクレ}ととま^マことと云^{イハ}ふ亦^モかくと云^{イハ}ふ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}とと 勢^セ物^{モノ} かくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

一 かくれよ ㊦ 隠^{カクレ}ととかくれ入^イるもの座^ザ

まうもあれがあやうれとてふらそ
みりりうきと云内
ハ君と日新

かほりのまトハ ⑩ 月乃老りあり

くぬトハ ⑪ 唇来花とつみあり

遊トハ ⑫ けがふゆけら花ん
けがふささ花
とつみあり

かが花トハ ⑬ 杜あぞとて万葉 ねくしーるまに

とひらるる花ととり つかもも回か

△惟がまどれへのふ花ぬぬえつづいふかをんを
風と吹まどち花トハ ⑭ 古今小梅のどくちるりれを

あしとく人乃ひふれがもち奇

△梅まどくおぬたけりやどくのふぞ風と吹あぬ貴と

梅ハ風吹くさもつれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

⑮ 山乃小梅とちるりれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

かとあうトハ ⑯ 山乃小梅とちるりれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

△山小梅とちるりれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

かトハ ⑰ 花乃小梅とちるりれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

△花乃小梅とちるりれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

かトハ ⑱ 花乃小梅とちるりれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

△花乃小梅とちるりれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

つきれ胡トハ ⑲ 花乃小梅とちるりれぬく人乃ひ風吹まどちるりれを

がは乃さトハ ⑳ 降魔乃相トハ おろろりし新トハ

拵トハ の中の丸乃とさトハ ㉑ 人丸とさトハ

とさトハ ㉒ 人丸とさトハ

⑳ 降魔乃相 ㉑ 人丸とさ

後

△天を若くはつひにおもひて色ありの物もえ侍せん

いろこしははらりくろり時よあり

△又さねの教よとていかにさうとにありし物もえ侍せん

かひのありし のわまたえのさ物あり

かれ乃トハ ① 舟乃名ん紫律天を侍をまをま

十丈ふゆりふふあり 指撃し書

かさるの浦級トハ ① 位名乃まあり 玉乃浦級たまを

侍しはかき侍し位しし乃后をうこうとすし

そにそろろ気吐大ゆ林乃かすいふふあひらる

かれかさるに夜風よりむ入ふ是より夜合のちトハ

かしの梅抽ト ① かきやうの言合あり

かへとのト ① ささる乃浦級あり 梅葉級あり

かやとくト ① ささる乃浦級あり

かとしとくトハ ① ま乃名あり

かろくくトハ ① 浦級とま地御 臨来とまといふん

かひありくトハ ① 八雲にけあひくとも天長のもん

かいつくトハ ① 龍乃字 龍をいひけり

かろくくトハ ① 神よりさえりめう御又ん

くまれたん

かひありくトハ ① 藤乃ありしとおれまのあり

かろくくトハ ① 名けつしよくあくをせり

△ありふえんまをといふ世中の波のさ花小風をまぐり

△白雲赤色の映り秋のつらねさあなまをまぐり

かろくくトハ ① 夏乃名あり

の巻目

の巻目

かこ山トハ ① 生ける麻と入て麻と云麻地山リ

又香久山と名古山皮云り大和ニあり

かこ山トハ ① 大和乃名古山 神名山あり

川崎トハ ① 川の中流あり 川名はめぐりわさ

ゆふらあり花とくすふ云けり

かこ山トハ ① 紀伊乃名古山又蓬萊島と神名云

川が飯トハ ① ありまろかどと云し川隈あり

くのみまトハ ① 榊乃名あり

河東院の塩く飯トハ ① 融るゆとみらのくのちるれ

塩く飯乃けりまをぬふろく 雜飯乃ろくあり

くみまをせ六糸かろく乃塩ありと塩く飯と云

ついで月とぬろくやをてりそあろひゆふ

かこ山トハ ① 生ける麻と入て麻と云麻地山リ

又香久山と名古山皮云り大和ニあり

かこ山トハ ① 大和乃名古山 神名山あり

川崎トハ ① 川の中流あり 川名はめぐりわさ

ゆふらあり花とくすふ云けり

かこ山トハ ① 紀伊乃名古山又蓬萊島と神名云

川が飯トハ ① ありまろかどと云し川隈あり

くのみまトハ ① 榊乃名あり

河東院の塩く飯トハ ① 融るゆとみらのくのちるれ

塩く飯乃けりまをぬふろく 雜飯乃ろくあり

くみまをせ六糸かろく乃塩ありと塩く飯と云

ついで月とぬろくやをてりそあろひゆふ

おどろかぬりて後を絶しけりといふ

△高田の煙中 陸奥の浦瀬にヒカシ後るが
頼乃の合の事よ ①一洗かこころの移合の事

△和や冬丸をやすき頼乃のあひのまよりあやうん
鳥籠とて海へて七夕とてふりあり海系と云
書よのかこころとて奥米抄のわがことわり
かこころとてふりあり乃社あれてふたかこ
本もあられられハ帯乃直着小律乃頼乃奇と
とりかこころとてふりあり七夕とてふりあり
あるとあやまりてかこころとてふりありととり
七月七日七夕乃とてふりあり乃奇よむくつり
△頼乃後せる格のよく頼乃とありとてこれ頼乃あふり

△頼乃のうき格れまことにてふりあり中にもあやとらん 若舟

川とて

①まこととて又浮岸とて又川乃屋

△清涼なる小川竹とて屋あり中殿乃竹とて

△かこころとて

①後乃時乃とて

△かこころとて

①一門とて

おどろかぬり

△かこころとて

①序後とて

△かこころとて
うきまけとてかこころとてありふりありとて
るまけとては種乃ふみとてかこころとて
おどろかぬり

一 掃花らんよ ⑤ ようやく 金巻ふらるる

一 けよ ⑥ けいけいとありあがり 雲の霧をい

一 げらふよ ⑦ どんぼうらあいのたれえ又まら

一 ぶふぶ虫いそ又日けあそろくそくそいふ

一 又げらふよ ⑧ 日本乃るそとふく八雲ふも

一 くととつは天候あり書あやわや色げらふあも

一 ると日とありあやれとそいげらふひもあや

一 あり虫あはあそとそくくひひれてちんちんあり

一 麻とよしてらるるよよ ⑨ 秦乃 運長 銷香とよ

一 られ二世まあわびたれ威とらんそく麻とよ

一 てふやあひをさるり橋生お車乃くはあり

一 麻とよしてらるるよよ ⑩ 隠乃 字ありのくあり

一 かくらふよ ⑪ かくらふらありけあらあり

一 かくらふよ ⑫ 困りわらあともくあり

一 かくらふよ ⑬ さくらふらあり 匂引とよ

一 風とよふよ ⑭ 吹るありあぐわの風あり

一 風吹とよふよ ⑮ あたわむるあり

一 夫といふよ ⑯ ちみあつたかのかりんを 半卒の

一 かやくとよふよ ⑰ かきまきとよふあり

一 かつらよ ⑱ びりくあはあく三人乃男ありて

一 一人乃女とらるるありあはあく三人乃男ありて

時遠某へなふつり天竺解漸のほぢもらん

一かぢくくくく

③ 難治乃くく

一馬好乃くく

③ びくくくくくくくくくく

書くことと白衣ふくくくくく

一かいまかん

③ ぢくくくくくくくくくく

又ね某親屏と去又屏と無他

かつくくくくくくくくくく

乃くくくくくくくくくく

ひくくくくくくくくくく

くくくくくく

五

△馬鹿わらわらふ波と黒指の中くくく

△申治くくくくくく

△若指れ較の髪も経ぬ

林のくくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

くくくくくく

〇巻目

七十一

「かやう」よ
① ちちかやうふまゝ
② 賽と去仁并ハと行橋ハに
③ けあれた可畏ハと去又ハに
④ くれとれ里と云ハ種後ハと去也

「か」の「ハ」
① 田畠年ハませむわくと片ハと云

「か」の「ハ」
① けあれた可畏ハと去又ハに

「か」の「ハ」
① くれとれ里と云ハ種後ハと去也

「か」の「ハ」
① ちちかやうふまゝ

「か」の「ハ」
① 賽と去仁并ハと行橋ハに

「か」の「ハ」
① けあれた可畏ハと去又ハに

「か」の「ハ」
① くれとれ里と云ハ種後ハと去也

「か」の「ハ」
① ちちかやうふまゝ

「か」の「ハ」
① 賽と去仁并ハと行橋ハに

「か」の「ハ」
① けあれた可畏ハと去又ハに

「か」の「ハ」
① くれとれ里と云ハ種後ハと去也

「か」の「ハ」
① ちちかやうふまゝ

「か」の「ハ」
① 賽と去仁并ハと行橋ハに

△白雲の鶴ちりうしと厚れねえさる秋の九月

△その後あつても年乃魚なすお抱ひのそせあめ舟

△河さくせし

△かきすすす

△余衣とねえの奉布細と拵不難本とさるん

△かきりともん



よひあよ

よわらよ

△真物と本とかりどかきり

△やきよ

よ川

よた

よ山

よた

よた

よた

よた

よた

よた

よた

古
七十三

りしとさす

① 青唐ざりーしとあいの① 粧ひ

② 仕下とま仕ひと又出民布とさるん

△真物と本とかりどかきり二方の里入扱ひひさり

③ 務川がり 秋川

△たれたよりハハハ ④ 山置いうるれたれたれよりハ後したこ

△山置ハ物乃びりさる社われたれたよりハ後よりさり

△たれたれふとてわどら後さんかかり山乃危おりともさる

⑤ 多しの務乃まきわりーしとあいの① 粧ひ

⑥ 多しの務乃まきわりーしとあいの① 粧ひ

⑦ 多しの務乃まきわりーしとあいの① 粧ひ

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

△たれたれと社さつてつとるいおるうりしとあいの

とまのりあり

① 天子乃は寝中へ傳涼殿乃あり

② ありしむむあり

③ 疾のふりあり 疾斜と云

疾くさら小孫えて世の川とせむと云れ小唱と云ふ

④ うまき多 楯負多 百ふき古今乃三

名ハ禁秘傳受乃大ふたり 龜背のあつたつたに

外名乃 露伝不付く用ひる所制乃 限り小ぬき

や伝書ふあつたつたに 只津道乃 ちよと云

乃 美威ハんるへむと云りて ちよと云く 京貞徳抄云

堀井基作心殿法中ふあつたつたに 疾活乃 双馬一

疾ありし中ふ

山多△ 疾と云ひ 病と云ふ 疾の疾小 疾と云ひ 疾と云

山多△ 疾小 疾の疾りあつたつたに 疾と云ひ 疾と云

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

疾△ 疾と云ひ 疾と云ふ 疾と云ひ 疾と云ふ

どそれをりやとふふ引よきとるべのあともこのぬは
まじりのふふとふふとふふとふふとふふとふふとふふと
合とてくふふとふふとふふとふふとふふとふふと
△月陰をえふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

後判判曰よりべのあともふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
魚のつれまじれ社もはつれつれつれつれつれつれつれつれ

とんたは漢乃其妙い玉珠をのんたはつれつれつれつれつれ
ふふふひて月のさふふふふふふふふふふふふふふふふ

徳も夫判をのり細きととととととととととととととととと
たりととととととととととととととととととととととととと

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ふふふ海おとろくをれんておふふふ天の時夜つれつれつれ
の二百六十首乃中小七月上旬乃奇ふ

ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
訓使判を主典乃て人乃使をまてて聖皇

ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

思らねるけてよめはれどくあがりしれいしれしりあど
あめしこもあがりしりあがりしりあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ② 河内の石山又入れたを竹川よ
備ふあろくひのたがり又踏奇りくひのたがり

△竹川乃橋れけりあろくをこれおれがくあめあめあめ
「竹乃くもよ」 ③ 酒乃名酒の林よ竹のよとよるく

「あろくもよ」 ④ 柳のり
△ぬれてやとあろくのこれあめあめあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ⑤ 竹乃くもりあろくあめあめあめあめあめ
すうのこれれしよの 轉意時けるまよとあめあめあめあめあめ

若くはのりよ ⑥ 送物乃倉のりよあめあめあめあめあめ
たけり川よ ⑦ なる備いあめあめあめあめあめあめあめ

△あめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ
△松林の枝とよあめあめあめあめあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ⑧ 天皇と松とあめあめあめあめあめあめあめ
とわろはあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ⑨ 山乃尾のり
あめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ⑩ 備あめあめあめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ⑪ 又あめあめあめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ⑫ 又あめあめあめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ⑬ 又あめあめあめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ

「たけり川よ」 ⑭ 又あめあめあめあめあめあめあめ
あめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ

△ 兼おろりめは船にれ惟あれは乃絶ふまの山風

兼おろりめは船にれ惟あれは乃絶ふまの山風
あれは乃絶ふまの山風

△ 兼おろりの兼おろりめは船にれ惟あれは乃絶ふまの山風

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

△ 兼おろりめは船にれ惟あれは乃絶ふまの山風

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

一 兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

兼おろりめは船にれ

③ 兼おろりめは船にれ

「おりのつらりよ ① お根が戸男にあられてお船みらり

△物入の沢乃堂とよろかりわなれ若おのこども
そ付男の若うやくの林のさくふ

△奥山おさだりてあうよはりおおおけー物おおひを

「おのつらりよ ① かの男れるしよりたふゆとち

△中くおとちもいふまふおそお入りちるおれとけ

古 ① おおる命たもあうとちいおれとけおんといえん
件方 へあふるおれとけおんといえん

「おれまらりよ ① けらぶおりのこり

「おまらりよ ① ちちとまうらちひいへ櫃例は七月と

又年乃くれおとち古へのまふまられりて

「おらりよ ① 棚曇とちほくらりのあり

「ひらりよ ① 草とくしじりて揺り おおお格は

「いこよ ① 糸とらたるるこ

「らぬるおよ ② 仙人乃おひりまおふとち

「たぐらりよ ④ とぐらりるおり

「たまさかおよ ④ 物どわとちし又とち入て命とちのあり

とちゆし地務とち又おはらりる神とちわらりる格

△おらる命とちすふれぬる人とたぐに力社きぬれ

△おらるらたぬとちて咲花のちとちのちのちのち入

「あけあうよ ④ ちらがれ格おたるこおひとちあり

「たさくらりよ ④ おひえおとちらうとち一國あくとち

〇 櫻月

た

八十五

「むらさきげふありよ」⑭ 無人と付ふありあまらむ

天智王里崩沛の時大后乃のまよ河あり

たじろとらよ」⑮ じろのまやまをさく降雨のまよに田代

能りたどり又降とらよとたじろとらよむ 桜のまよ

「たじれとらよ」⑯ ねも風流乃男あり

「たじらとらよ」⑰ いらのまよとらら母のまよ

「たじれとらよ」⑱ ちづーまよのまよとららとらら

まよとららとららとららとららとららとらら

「たじれとらよ」後行はまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」⑲ ちづーまよのまよとららとらら

小倉の秋あり ちづーまよのまよとららとららとららとらら

十月日小倉とららとららとららとららとららとらら

「たじれとらよ」⑳ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉑ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉒ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉓ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉔ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉕ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉖ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉗ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉘ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉙ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉚ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉛ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉜ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉝ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉞ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㉟ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㊱ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㊲ ちづーまよのまよとららとらら

「たじれとらよ」㊳ ちづーまよのまよとららとらら

一 おれよ
① おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ

おれよ

おれよ

おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

おれよ
おれよ

一 玉女の巻 ナニヤ ⑩ 大内少輔白飯之丸の巻あり ナニヤ ⑪ 西く
 一作の巻あり ⑫ 林か又大内少輔之巻と可なり ナニヤ ⑬
 ⑭ 玉女之巻の巻の川作の二つあり ナニヤ ⑮ 玉女之巻の中
 ⑯ 玉女之巻の巻 ナニヤ ⑰ 又かくの巻 ナニヤ ⑱ 古事本云或は
 ⑲ 玉女之巻の巻 ナニヤ ⑳ 又かくの巻 ナニヤ ㉑ 又かくの巻
 ㉒ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉓ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉔ 玉女之巻の巻
 ㉕ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉖ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉗ 玉女之巻の巻
 ㉘ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉙ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉚ 玉女之巻の巻
 ㉛ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉜ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉝ 玉女之巻の巻
 ㉞ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉟ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊱ 玉女之巻の巻
 ㊲ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊳ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊴ 玉女之巻の巻
 ㊵ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊶ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊷ 玉女之巻の巻
 ㊸ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊹ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊺ 玉女之巻の巻
 ㊻ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊼ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊽ 玉女之巻の巻
 ㊾ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊿ 玉女之巻の巻 ナニヤ

一 玉女之巻の巻 ナニヤ ⑩ 大内少輔白飯之丸の巻あり ナニヤ ⑪ 西く
 一作の巻あり ⑫ 林か又大内少輔之巻と可なり ナニヤ ⑬
 ⑭ 玉女之巻の巻の川作の二つあり ナニヤ ⑮ 玉女之巻の中
 ⑯ 玉女之巻の巻 ナニヤ ⑰ 又かくの巻 ナニヤ ⑱ 古事本云或は
 ⑲ 玉女之巻の巻 ナニヤ ⑳ 又かくの巻 ナニヤ ㉑ 又かくの巻
 ㉒ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉓ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉔ 玉女之巻の巻
 ㉕ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉖ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉗ 玉女之巻の巻
 ㉘ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉙ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉚ 玉女之巻の巻
 ㉛ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉜ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉝ 玉女之巻の巻
 ㉞ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㉟ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊱ 玉女之巻の巻
 ㊲ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊳ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊴ 玉女之巻の巻
 ㊵ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊶ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊷ 玉女之巻の巻
 ㊸ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊹ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊺ 玉女之巻の巻
 ㊻ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊼ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊽ 玉女之巻の巻
 ㊾ 玉女之巻の巻 ナニヤ ㊿ 玉女之巻の巻 ナニヤ

山里の採花乃...

「たれつ」 ① 肥後乃國の名也 風流と云

「よあれの弱」 ② よあれ一弱あり

「よあれの弱」 ③ 弱ありらん 弱もよあれの弱もよあれ

「よあれの弱」 ④ 弱のよあれのよあれよあれと云

「よあれの弱」 ⑤ わ一弱と云

「たれつ」 ⑥ 女ありつよし 愚のいふ一あり

「たれつ」 ⑦ 玉匣ありらん 匣あり又ありのよあれと云

「たれつ」 ⑧ 八雲ニむらぎのつらと云 八雲と云らん 八雲と云らん 八雲と云らん

「たれつ」 ⑨ けつろや長おろしと云 けつろと云らん けつろと云らん けつろと云らん

「たれつ」 ⑩ けつろや長おろしと云 けつろと云らん けつろと云らん けつろと云らん

「たれつ」 ⑪ けつろや長おろしと云 けつろと云らん けつろと云らん けつろと云らん

「たれつ」 ⑫ けつろや長おろしと云 けつろと云らん けつろと云らん けつろと云らん

「たれつ」 ⑬ けつろや長おろしと云 けつろと云らん けつろと云らん けつろと云らん

「たれつ」 ⑭ けつろや長おろしと云 けつろと云らん けつろと云らん けつろと云らん

「たれつ」 ⑮ けつろや長おろしと云 けつろと云らん けつろと云らん けつろと云らん

「たれつ」 ⑯ けつろや長おろしと云 けつろと云らん けつろと云らん けつろと云らん

一 たまはるしよハ ③ 薪乃ハ松ハとあり

一 いづみのしよハ ④ 男あり 立田ハ非ハ倍ハ折ハあり

一 田子ハ ⑤ 田とハ極ハ々ハ積ハあり

一 玉の男ハ ⑥ 源氏ハニハ云ハリハとハ器ハ用ハ小ハまハひハるハ人ハ

一 くらげハ ⑦ 味ハ湯ハ小ハ指ハさハのハもハまハさハざハあり

一 くれハあハくハ ⑧ くらハれハとハぢハりハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑨ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑩ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑪ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑫ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑬ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑭ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑮ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑯ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑰ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑱ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑲ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ⑳ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉑ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉒ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉓ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉔ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉕ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉖ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉗ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉘ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

一 くらハあハくハ ㉙ くらハあハくハのハゆハきハとハあハらハうハ種ハあり

何處ともくともリヌと抽とわめて玉第...云々

△物言乃初まのころ乃玉第...云々

い奇ハ大平貞字三年正月と月...云々

屋小のて玉第と縁と...云々

長靴とまてふ...云々

大伴の...云々

とあり又あはか...云々

命ありい奇...云々

といまのり...云々

るハ...云々

と...云々

たまたた...云々

と...云々

と...云々

△...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

と...云々

一 おもやとよ ② 玉多と去玉もやとよしことわりひ

一 けはの圓ふま海し珠ハ海ふら物おれはなり

一 だがあす十八 ② 拭免と云あし響とらあしあし

一 玉まくらす十八 ② くののまれはなまれたらと云友習

○れ

れい入よ ① よれはひのりなり

一 ② 不削なりまうと云ふなり

一 ④ 抽おかれらし削りと云

一 ④ 筆乃るしまらるはと云

一 ⑤ 美人乃名なり

○が

ぞうらふよ ① 弱冠一誘乃と云

一 ① いまごらいたた蘭又まらくはるる

一 △ 他はたまやあらん小山田はまきまらるる

一 ④ 十作田作りと云ふは

一 ④ 心あしと云しと云らと云おしうは

一 ④ 心あしと云しと云らと云おしうは

一 ④ 心あしと云しと云らと云おしうは

一 ④ 心あしと云しと云らと云おしうは

一 ④ 心あしと云しと云らと云おしうは

△難波のさき大くやの若りてとまらぬ神は徳と云ふ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 八雲（さき）の若りてとまらぬ

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

一 山田の神

⑤ 山田の神と人傳之

⑥ 雲の如く一をさるる

⑦ 山田の神と人傳之

⑧ 山田の神と人傳之

⑨ 山田の神と人傳之

⑩ 山田の神と人傳之

⑪ 山田の神と人傳之

⑫ 山田の神と人傳之

⑬ 山田の神と人傳之

⑭ 山田の神と人傳之

⑮ 山田の神と人傳之

⑯ 山田の神と人傳之

⑰ 山田の神と人傳之

⑱ 山田の神と人傳之

⑲ 山田の神と人傳之

⑳ 山田の神と人傳之

㉑ 山田の神と人傳之

㉒ 山田の神と人傳之

㉓ 山田の神と人傳之

㉔ 山田の神と人傳之

㉕ 山田の神と人傳之

㉖ 山田の神と人傳之

㉗ 山田の神と人傳之

㉘ 山田の神と人傳之

㉙ 山田の神と人傳之

㉚ 山田の神と人傳之

㉛ 山田の神と人傳之

そなたの心よ ① そなた振る川てあたる心

△そなたの心よ ② そなたの心よ ③ そなたの心よ ④ そなたの心よ ⑤ そなたの心よ

△そなたの心よ ⑥ そなたの心よ ⑦ そなたの心よ ⑧ そなたの心よ ⑨ そなたの心よ

△そなたの心よ ⑩ そなたの心よ ⑪ そなたの心よ ⑫ そなたの心よ ⑬ そなたの心よ

△そなたの心よ ⑭ そなたの心よ ⑮ そなたの心よ ⑯ そなたの心よ ⑰ そなたの心よ

△そなたの心よ ⑱ そなたの心よ ⑲ そなたの心よ ⑳ そなたの心よ ㉑ そなたの心よ

△そなたの心よ ㉒ そなたの心よ ㉓ そなたの心よ ㉔ そなたの心よ ㉕ そなたの心よ

△そなたの心よ ㉖ そなたの心よ ㉗ そなたの心よ ㉘ そなたの心よ ㉙ そなたの心よ

△そなたの心よ ㉚ そなたの心よ ㉛ そなたの心よ ㉜ そなたの心よ ㉝ そなたの心よ

△そなたの心よ ㉞ そなたの心よ ㉟ そなたの心よ ㊱ そなたの心よ ㊲ そなたの心よ

△そなたの心よ ㊳ そなたの心よ ㊴ そなたの心よ ㊵ そなたの心よ ㊶ そなたの心よ

△そなたの心よ ㊷ そなたの心よ ㊸ そなたの心よ ㊹ そなたの心よ ㊺ そなたの心よ

△そなたの心よ ㊻ そなたの心よ ㊼ そなたの心よ ㊽ そなたの心よ ㊾ そなたの心よ

△そなたの心よ ㊿ そなたの心よ ㊽〇 そなたの心よ ㊽〇〇 そなたの心よ

△そなたの心よ ㊽〇〇〇 そなたの心よ ㊽〇〇〇〇 そなたの心よ

△そなたの心よ ㊽〇〇〇〇〇 そなたの心よ ㊽〇〇〇〇〇〇 そなたの心よ

△そなたの心よ ㊽〇〇〇〇〇〇〇 そなたの心よ ㊽〇〇〇〇〇〇〇〇 そなたの心よ

「行く者れ國」③ 行くの申は行く者れ國にゆくあり

行くのころは行くの者れ國にゆくは行く者れ國

「月乃てり」④ 塩乃てりい月の出入りあり物と

「行く者れ國」⑤ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑥ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑦ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑧ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑨ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑩ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑪ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑫ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑬ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑭ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑮ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑯ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑰ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑱ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑲ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」⑳ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」㉑ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」㉒ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」㉓ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」㉔ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」㉕ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」㉖ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」㉗ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

「行く者れ國」㉘ 行く者れ國にゆくは行く者れ國

の巻目

の巻目

の巻目

の巻目

④ 風起かり物らくおくらん
⑤ 鷲乃指と云つらんまんくおくらん
よして雄鷲れゆるせんとらんかり

△まよひより鷲乃指小鷲乃指のまよひよりおくらん
はくまよひ

△敷ておくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

③ 十二月晦日乃おかり
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

△おくらんおくらんおくらんおくらん
はくまよひ

「此のむじよ」 ② 啄と去るの雉とくじく

「けりぞれよ」 ① 池中小るる船あり

「けりぬくよ」 ② 物とこぞつゆくし つゆくしとめぬが

△むじよなつゝぬたとある白鳥のまのまがく月ぞとあり

「ゆやぬくよ」 ① はらうくそらとらとありゆき

「つこひひくよ」 ② 舟水とひくくし去年の生もの方

乃多と封船してゆきとて去るの目とある封と舟

くそ物く大肉にまれの物物とされとすた 年中の物も

△まよえてこまゆふあはらとせぬれやさうせん 人落

「つづくよ」 ① つづくしとふ月と舟のぬとまよる舟

△つづくしとまの雉のむじよとある舟つと舟のむら

「はく船く」 ① はくく船く船く人ゆきとく船く

「舟と舟あり」 ② 舟舟外あり月後男た 舟と舟あり

△舟と舟ありと舟と舟あり船と舟と舟と舟とあり 西行

「つゆをく」 ② 妻向乃あり

「舟をく」 ② 舟と舟あり

「舟のむらよ」 ① 舟のむらあり

「けりたまよ」 ① 舟のむらありの舟と舟のむらあり

△舟のむらありと舟のむらありの舟と舟のむらあり

△舟のむらありと舟のむらありの舟と舟のむらあり

△舟のむらありと舟のむらありの舟と舟のむらあり

△舟のむらありと舟のむらありの舟と舟のむらあり

「はく船く」 ① 舟のむらありの舟と舟のむらあり

舟と舟あり 舟と舟あり 舟と舟あり

舟と舟あり 舟と舟あり 舟と舟あり

「はまびね」 ① 琵琶のしらべくつあやぐりるし

「家のとへおたよ」 ① 月もやとぬらあり

「つとれおたよ」 ① 肥後田名不又津の國を馬おたよ

「つとくおたよ」 ① 枝乃志げさつとたあり

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① 鬼乃社とおまきくんとさるし

「はまおたよ」 ① ぞくつとくよふあり

「はまおたよ」 ① 奥列乃名不之田村御軍石小日中

中央と書付し〇大信正然おたよへあまの

とまね乃ちハヤつがしと尸をワスルをさるし

陸奥乃いそあがえとあなまのうとよつたあり

「はまおたよ」 ① 妻のののれ 月くしのまの侍勢外

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

「はまおたよ」 ① ちあくおたよつたよと強西

龍リウかひりくけき乃振とらふらんくく、龍虎毎ツネ持ツふ
害ガイせらるゝも是虎トの我半ニハ生乃造ツク画乃飛トビ業ゴウ黒白の
龍リウの月月乃るるゝ毒ドク地チと地チとくふこくり龍と云

「はらりて」
② 秋系方の友と住せりてこ日石

「はらりて」
③ 冬出ぬの住友と住せりてかりた云

「はらりて」
④ つせりてこ世取とらるゝ

「はらりて」
⑤ 霧林の世も入滅の所と云

「はらりて」
⑥ 多乃ふふん引とらるゝ

「はらりて」
⑦ 揚松の小櫛と又小櫛た云と云

△ 秋系アキの知人チとて床の波りナミとてかづのゆユ

「はらりて」
⑧ 龍と云

「はらりて」
⑨ 龍と云

「はらりて」
⑩ 龍と云

「はらりて」
⑪ 龍と云

「はらりて」
⑫ 龍と云

「はらりて」
⑬ 龍と云

「はらりて」
⑭ 龍と云

「はらりて」
⑮ 龍と云

「はらりて」
⑯ 龍と云

「はらりて」
⑰ 龍と云

「はらりて」
⑱ 龍と云

「はらりて」
⑲ 龍と云

○ ね

「龍のや」
⑳ 龍と云

龍

龍

龍

「移ぬぬ」 ① 泥ふありかられぬし云ふ後と

「移して植」 ② 草木と根引中して植るは移りては

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移たよと」 ③ 林小移りと移たふ付てす

△移たよとわまり移せん社とよとハ秋乃東とぬぬ

「移ひのよと」 ④ 七夕お祭は向く女と移る

△七夕お祭つるあはれりて年あてまてとよとさん

「移りけり」 ⑤ 傷人の表裏を人の心ココロのちチ移りて

「移りの村戸」 ⑥ 藪戸のちよと云板屋イタヤの多牛タウの

ひらり移れ移りの村戸の風あらしむるあり

「移らるる」 ⑦ 衣をぬるあり

「移りひらり」 ⑧ 徳待と云トクマツ山乃徳待トクマツのりあり

「移ひらり」 ⑨ 移りらるる移ひのゆととハ移り

「移る移る」 ⑩ 古くは移るありと云く移るけり

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移る移る」 ⑪ 移りては移るありと云く移るけり

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移る移る」 ⑫ 移りては移るありと云く移るけり

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移りては」 ⑬ 草木と移りて地とゆふは移りては

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移りては」 ⑭ 移りては移りては移りては

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移りては」 ⑮ 移りては移りては移りては

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移りては」 ⑯ 移りては移りては移りては

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移りては」 ⑰ 移りては移りては移りては

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移りては」 ⑱ 移りては移りては移りては

△いの中年移りと植り我者の草木の根花咲ふより

「移りては」 ⑲ 移りては移りては移りては

○な

「あゝの中より」 ⑩ 山王七社三如本 又新わぐわん三社

△ 我れ七の社乃々三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ⑪ 海カ 波ハ あゝのり三如本 又新わぐわん三社

「あまのり」 ⑫ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「中川」 ⑬ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

△ 中川ナカガハ のあひ三如本 又新わぐわん三社

△ 比ヒ 比ヒ の海ウミ 々々三如本 又新わぐわん三社

△ 新ニ 東ト 橋キ 川カ のあひ三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ⑭ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ⑮ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

△ 新ニ 東ト 橋キ 川カ のあひ三如本 又新わぐわん三社

△ 新ニ 東ト 橋キ 川カ のあひ三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ⑯ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ⑰ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

△ 新ニ 東ト 橋キ 川カ のあひ三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ⑱ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ⑲ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ⑳ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ㉑ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ㉒ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ㉓ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ㉔ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

「あゝのり」 ㉕ 新ニ 東ト 橋キ 川カ の三如本 又新わぐわん三社

の巻

新

「あざとく人トハ」 ① あざとく人トハ 又あざとく人トハ 平島トハ

△時きあやうとされれ灯とほくはあざとくも新とん
あざとくあめのもよトハ せうあざとくあふつとあはれはう

海乃神とあらし

「あざとく人トハ」 ① げとく人トハ 法をまじりてあざとく人トハ

「あざとく人トハ」 ① つたたく人トハ

七のかゝる人トハ ① 竹林の七賢普康 阮籍 王戎 山濤 阮咸 向秀 劉伶 是也

△古れ七のかゝる人トハ 死んぬるがが地の酒ふらむれ

「あざとく人トハ」 ① 麻アサの白糸トハ 後ろぬる人トハ

△あふといひもふさすあざとく人トハ せうあざとくあふつとあはれはう

「あざとく人トハ」 ① 万葉集のゆゑ 徳和天皇万葉集

△神を月時あらしとひるあざとく人トハ 平島トハ

△神を月時あらしとひるあざとく人トハ 平島トハ

△神を月時あらしとひるあざとく人トハ 平島トハ

△神を月時あらしとひるあざとく人トハ 平島トハ

「あざとく人トハ」 ① 海隅乃とあざとく人トハ

△海隅乃とあざとく人トハ 海隅乃とあざとく人トハ

「あざとく人トハ」 ① 奇乃とあざとく人トハ 奇乃とあざとく人トハ

「あざとく人トハ」 ① 媒取ありとあざとく人トハ 媒取ありとあざとく人トハ

「あざとく人トハ」 ① 借乃とあざとく人トハ 借乃とあざとく人トハ

「あざとく人トハ」 ① 借乃とあざとく人トハ 借乃とあざとく人トハ

△あふといひもふさすあざとく人トハ せうあざとくあふつとあはれはう

「あざとく人トハ」 ① かりたりトハ かりたりトハ

△あふといひもふさすあざとく人トハ せうあざとくあふつとあはれはう

の巻

の巻

一 たりたりトハ ⑩ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ⑪ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ⑫ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ⑬ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ⑭ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ⑮ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ⑯ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ⑰ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ⑱ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ⑲ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ⑳ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ㉑ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ㉒ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ㉓ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ㉔ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ㉕ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ㉖ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ㉗ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ㉘ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ㉙ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ㉚ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ㉛ じごりりとくるしきんりのこころト

一 たりたりトハ ㉜ じごりりとくるしきんりのこころト
おろろトハ ㉝ じごりりとくるしきんりのこころト

「かざりよ」

⑤ 離り 海川の合 塩は海をく

△昔乃をのちて塩焼く海を塩けぬぐもさすなかり

「あうさざりよ」

④ 中はし さびるて月ごとく 廻り

「かきひなめよ」

④ あひやあ 椰菜と云 崎あり

「なれさざりよ」

④ あれさざりよ 又あれく 煮あもさ

「あざわくさざりよ」

④ 和トと云 やりうろちと云 わくさ

「あにえれよ」

④ 何やらと云 又何れもさ

「かれよ」

④ 地のれたり

「かこそよ」

④ かこそと云 ころかともや 奥列あはと

△それ笑と云と云かたよ来と云ふよと云せり

△昔乃のあにえれよのあにえれよのあにえれよ

「あにえれよ」

④ 神も葉と云海草と云

△かり初めうあにえれよあにえれよあにえれよのあにえれよ

「あはは津よ」

④ いろはに四十八字と云り

「あにえれよ」

④ やりうろちと云り

「あにえれよ」

④ ころかともやと云り 神も葉と云

「あにえれよ」

④ ころかともやと云り

「あにえれよ」

④ ころかともやと云り

「あにえれよ」

④ ころかともやと云り 神も葉と云

「あにえれよ」

④ ころかともやと云り

「あにえれよ」

④ ころかともやと云り 神も葉と云

七五の赤れ六の 何能減乃カとつるあり

一 名乃り一の若也一の 名の面白くえ 名細若也と云

一 おぼりく一六 一 のおまめさくつるく云ふ程と

一 おろりく一六 一 のおんぢがゆくし海鳴こ

一 友そののく一六 一 の麻乃草と川と引るく

一 おろりく一六 一 の年寄ぬるく又主唯の相合ぬるく

一 おろりく一六 一 の家くあひまふかぞあくるは緒とさる一りあり

一 おろりく一六 一 の風の名一 一 おくく一六の おんぢく

一 おろりく一六 一 のおろりく一六の おんぢく

一 おろりく一六 一 のおろりく一六の おんぢく

一 おろりく一六 一 のおろりく一六の おんぢく

一 おろりく一六 一 のおろりく一六の おんぢく

一 おろりく一六 一 のおろりく一六の おんぢく

一 おろりく一六 一 のおろりく一六の おんぢく

何能減乃カとつるあり

魚越山

七五の赤れ六の 何能減乃カとつるあり

一 名乃り一の若也一の 名の面白くえ 名細若也と云

一 おぼりく一六 一 のおまめさくつるく云ふ程と

一 おろりく一六 一 のおんぢがゆくし海鳴こ

一 友そののく一六 一 の麻乃草と川と引るく

一 おろりく一六 一 の年寄ぬるく又主唯の相合ぬるく

一 おろりく一六 一 の家くあひまふかぞあくるは緒とさる一りあり

一 おろりく一六 一 の風の名一 一 おくく一六の おんぢく

一 おろりく一六 一 のおろりく一六の おんぢく

一 おろりく一六 一 のおろりく一六の おんぢく

何能減乃カとつるあり

魚越山

「かろ神トハ ③天一神の事には神乃おらるる方ハ

「なつつに神トハ ③くさくさの事には神乃おらるる方ハ

「たがれぬ泉トハ ③又たがらるる處 皆酒の事トハ

「かまへむ事トハ ③衣乃おらるる事トハ

「海乃事トハ ③海乃波乃平の事トハ

「かろ神トハ ③保乃事トハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

「かろ神トハ ③六月海月見の後ハ

えやうの付ありととり奇ふふととら今こまふたや

「じまこし」 ① ちり場あり

「じやいしるが」 ② ちりあぐりどろし赤と無成 四の合とりの

「じやのしらあまね泥の流は柱と板の石舟もこれの

「じよしたの庄」 ③ 大内乃ちあり

「はる乃庄の美風」 ④ ちりあぐりどろし花ふあぐり雲のふか

「むこし」 ⑤ ちりあぐりどろし

「むりほが」 ⑥ 秋中風の鳥又大内の庄 疑花舎

「むべ」 ⑦ 宜くちりどろしと換 たりと云ふ

「むかしの秋の季木のふりれいじん山風と直とあん

「むじごし」 ⑧ 備 かたき ちりあぐりどろしと換 たりと云ふ

「むじごの者」 ⑨ 備 かたき あれらるるむじごし門も同

「むすやち」 ⑩ 縁海へ換乃ち高九平と縁去とふ

「むすの終」 ⑪ 縁海へ換乃ち高九平と縁去とふ

「むすの八橋の煙」 ⑫ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ⑬ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ⑭ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ⑮ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ⑯ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ⑰ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ⑱ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ⑲ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ⑳ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ㉑ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ㉒ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ㉓ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ㉔ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

「むすの八橋の煙」 ㉕ 下野れ中おま 橋乃 ちりあぐりどろし

一 びく、海うみ、
④ 棟梁たてりやうあり 四柱よっすゐびく、さるわさひり

一 青苔あおこけ初はつめり、
④ 青苔あおこけ、こゝに例たとへと今いまもそめりあり

△ 吹風ふきかぜおれらら花はなや白しろく、几こゝろ青苔あおこけさつ々さつさつの庭にわ家か

△ 空あかいれ何なにと思おもふとあを風かぜを青苔あおこけさつ々さつさつの庭にわ月つき

一 びく、海うみを、
⑦ びく、いさる岸きし、こ家かと尾おとこり

一 びく、海うみ、
④ 六田むつた、名なあり

△ 村むらのあやとめら、あは月つきのびく、海うみを、
② 若代わかしよ乃の路ぢ、びく、と云いふ奇きと花はなと

一 びく、いね、
⑦ 仙洞せんどう乃の路ぢ、びく、

一 びく、いね、
⑦ 山乃やまの路ぢ、日本紀云いふ、又また山やまの鉄てつあり

一 びく、いね、
⑦ 花はなあり、 びく、いね、 びく、いね、 花はなあり

△ 海うみのあやとめら、あは月つきのびく、海うみを、

一 びく、いね、
⑦ 奇きの六む、びく、いね、

一 びく、いね、
⑦ 花はな乃の路ぢ、びく、いね、

一 びく、いね、
⑦ 天あま、いね、

一 びく、いね、
⑦ 山やま乃の路ぢ、びく、いね、

一 びく、いね、
⑦ 花はな乃の路ぢ、びく、いね、

一 びく、いね、
⑦ 人ひとの、いね、

一 梅うめ乃の路ぢ、びく、いね、

一 びく、いね、
⑦ 月つき乃の路ぢ、びく、いね、

一 びく、いね、
⑦ 村むら乃の路ぢ、びく、いね、

一 びく、いね、
⑦ 村むら乃の路ぢ、びく、いね、

の巻目

の巻目

の巻目

一 川の多ふよ

③ 川のくた又川のぬふ

一 川の多ふよ

④ 川のくた又川のぬふ

やぶくそと云ふこと定ぬついで打と云ふふふふふふふふふふ

八重と云ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ 美ぬの海神ありぐふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ 松と云ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ 川の多ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

源と云ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

まどいそと云ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

一 川の多ふよ ③ 琉球あり ④ 海の傍に ⑤ 志どあり

一 川の多ふよ ⑤ 裏表あり

一 川の多ふよ ⑥ 人どのふふふふふふふふふふふふふふふふ

△ 罪と云ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

① のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

② のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

③ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

④ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑤ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑥ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑦ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑧ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑨ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑩ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑪ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑫ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑬ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑭ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑮ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑯ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑰ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑱ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

⑲ のんたぬのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

一 打りつけてよ ⑦ 打りつけてあり

一 おてよ ⑧ 傳乃名あり

一 打りつけてよ ⑨ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑩ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑪ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑫ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑬ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑭ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑮ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑯ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑰ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑱ 打りつけてあり

一 打りつけてよ ⑲ 打りつけてあり

① 打りつけてよ ② 打りつけてあり

③ 打りつけてよ ④ 打りつけてあり

⑤ 打りつけてよ ⑥ 打りつけてあり

⑦ 打りつけてよ ⑧ 打りつけてあり

⑨ 打りつけてよ ⑩ 打りつけてあり

⑪ 打りつけてよ ⑫ 打りつけてあり

⑬ 打りつけてよ ⑭ 打りつけてあり

⑮ 打りつけてよ ⑯ 打りつけてあり

⑰ 打りつけてよ ⑱ 打りつけてあり

⑲ 打りつけてよ ⑳ 打りつけてあり

㉑ 打りつけてよ ㉒ 打りつけてあり

㉓ 打りつけてよ ㉔ 打りつけてあり

㉕ 打りつけてよ ㉖ 打りつけてあり

㉗ 打りつけてよ ㉘ 打りつけてあり

㉙ 打りつけてよ ㉚ 打りつけてあり

㉛ 打りつけてよ ㉜ 打りつけてあり

㉝ 打りつけてよ ㉞ 打りつけてあり

㉟ 打りつけてよ ㊱ 打りつけてあり

㊲ 打りつけてよ ㊳ 打りつけてあり

㊴ 打りつけてよ ㊵ 打りつけてあり

さうあわらうひたれが女せんくあくくうりうまで

△佐とひねれをあげてんははの生田の川に流のぬきり

女はあどくそそは田川お母とあげてるぬ二人の男とあ

とあげて死より三人のかうぶあけとあげてあど中お

つた方お二人の男とつたあく今あまこあん万あ

十九と長所より橋のよぶつげのどぐとさういれは生付て

あそろりうーんくうり 一書あど ②かくやあく

一うの田あど ②冬とあれ 一ううあど ②七夕んくうあ

うらのちうあど ②又うらりああどととえうらああど

あらうーあす大ああどああどああどああどああどああど

△さああああああああああああああああああああああ

け奇あまあああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

あああああああああああああああああああああああああ

○あ

あざり井あり 居キ起キあり 記居キ勢キ勢キあり

あざのむあり ①山城乃居あり

あやぐちあり ②うやく後共あり

あざぐちあり ③つぎぐちあり

あひらの井三 井三武天三あり

あざの中三あり ④他の井の先三あり

あざの下三あり ⑤大和地三あり

あざか三あり ⑥あざか三あり

あざのりあり ⑦あざのりあり

あざのりあり ⑧あざのりあり

あざのりあり ⑨あざのりあり

あざのりあり ⑩あざのりあり

わんとなんたよやゆりさぬかきく七八年と又あ
いばおのり多し男の女のゆきとれたれたれたれた
志とて男とれり免してあひさるやあり
△とれく井のりあざのりあり

○の

のりあり ①あざのりあり

のりあり ②あざのりあり

のりあり ③あざのりあり

のりあり ④あざのりあり

のりあり ⑤あざのりあり

のりあり ⑥あざのりあり

あざのりあり

あざのりあり

あざのりあり

△ 赤悪の世に... 物持おほやせくるも...
「のいづとね」 ① ようきりりる松く 糸も回あ

「のいづとね」 ② 暴風めくく... 行もまの
「世中の清あよ」 ③ 播磨のよあ... 青いあよに

あゆくまきまう... ありあけ... せは
△ 古の世中... 舞あおも同ド

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

△ 古の世中... 今もあよ... 後人
△ 古の世中... 今もあよ... 後人

〇 綴り

か

一 五七五

公世

「中」

④ 輝 輝なり 春つづくも春のさしこ

「百」

▲是の山は... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

▲さかしの春のつづく... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

▲甲斐守... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

「百」

のりる... 輝に今おさか、あはれぬ

のりる

のりる

のりる

乃とたの役ト

⑦ 小筋（天より）物役と云ふト

七月八月五月あり 前（天より）役（天より）前（天より）筋（天より）

● 貴ト 貴ト 貴ト 貴ト 貴ト 貴ト 貴ト 貴ト 貴ト 貴ト

● 秋ト 秋ト 秋ト 秋ト 秋ト 秋ト 秋ト 秋ト 秋ト 秋ト

● 冬ト 冬ト 冬ト 冬ト 冬ト 冬ト 冬ト 冬ト 冬ト 冬ト

● 春ト 春ト 春ト 春ト 春ト 春ト 春ト 春ト 春ト 春ト

○ ね

大さしトのト後トのト正トとト位ト方トり

● ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト

● ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト

● ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト

● ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト

● ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト

● ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト

● ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト

● ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト ねト

小筋

天

前

筋

かまねおゆりのたれびのぬらふは林のさかしの色
後水迷懐乃奇しとて乃中の地あるは我れとより我
ぞかくまひのくたをさぬは乃とて林のめぐりありと
めぐりぬくも度なき處に階せられり時感入候の奇

▲古の世の人のたれとぬらふは林のさかしの色
おやどらトハ

おやどらトハ ④ 女部志のぬらふと男部志のぬらふ

おやどらトハ ⑤ 大に藤乃林 大に貴きとりのゆき

おやどらトハ ⑥ 藤乃林 杖髪出處のゆき

おやどらトハ ⑦ 人を乃杖髪あり

おやどらトハ ⑧ かしこし 赤いんかひのぬらふ

おやどらトハ ⑨ ものゆくぬらふとゆき ぬらふゆき

おやどらトハ ⑩ ぬらふゆき ぬらふゆき

おひさるはゆき ⑪ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑫ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑬ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑭ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑮ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑯ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑰ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑱ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑲ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ⑳ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉑ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉒ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉓ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉔ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉕ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉖ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉗ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉘ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉙ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉚ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

おひさるはゆき ㉛ 湯はゆき 人を乃杖髪あり

一 招がらうトハ ① 招がとれたまゆらりし 招がとれたまゆらりし

一 大あひの奇トハ ② 神ふろ曲あり

一 招がと田トハ ③ 田田かき 田田かき 田田かき 田田かき 田田かき 田田かき

一 招ひふれトハ ④ 招ひふれ 招ひふれ 招ひふれ 招ひふれ 招ひふれ 招ひふれ

一 西ワとれトハ ⑤ 西ワとれ 西ワとれ 西ワとれ 西ワとれ 西ワとれ 西ワとれ

一 招んろく 招んろく ⑥ 招んろく 招んろく 招んろく 招んろく 招んろく 招んろく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑦ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑧ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑨ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑩ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑪ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑫ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑬ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑭ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑮ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑯ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑰ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑱ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑲ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ⑳ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ㉑ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

一 招ひひく 招ひひく トハ ㉒ 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく 招ひひく

行しえり 八雲ハクモ六ムス 八雲ハクモ六ムスと云ふ 又一ヒト一ヒト一ヒトと云ふ

又またしらしらかかややと云ふ

後後者者乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

○後後者者乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

○後後者者乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

一 尾尾のの志志と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

一 尾尾のの志志と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

△家家元元乃乃ああららのの翁翁乎乎と云ふ

「おまへ」 幣云 一 おさへ ⑩ 衣賦をく長也

「おのこ」 ⑪ 酒目を振あり 雨立志に

「おのこ」 ⑫ とあへん受たわおと小あひぬと

又おのこはあひぬのうらみ

△おのこはあひぬのうらみ

「おのこ」 ⑬ 男乃さう物し女のさうちれと云

「おのこ」 ⑭ 只替乃大なりぬ薪及大城分

「おのこ」 ⑮ 紅殿あろりあり

「おのこ」 ⑯ 養父まうさう極くこれあて思ひ

「おのこ」 ⑰ そこれ思ひの思ひあり

「おのこ」 ⑱ おさあをい又下あし納女と出

「おのこ」 ⑲ 梅 ちれぬわ

「おまへのこ」 ⑳ 西乃美のあえ 浦た 沖た

「おのこ」 ㉑ 大君 沖門のあゆみ

「おのこ」 ㉒ 小忌とあ人の東幸あさる大忌のあ

「おのこ」 ㉓ 天子乃座席あり

「おのこ」 ㉔ 田のさう人おあり かへりあり

「おのこ」 ㉕ ちくあぬ おさくしん中くは何

「おのこ」 ㉖ 火急とさして云 法急三車一木の心

△世中小年の車乃ありせぬおののあといくせ出あり

「おのこ」 ㉗ 起てさうくぬれぬ縁宿と云白髪

「おのこ」 ㉘ 炎髪乃袖あり 縁と云六十以後の縁あり

△おのこはあひぬのうらみを指衣を針と縁田為もああり

「おのこ」 ㉙ 大とに梅を大とありあひぬ

